

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇講座 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		三村 梨恵
授業の概要			
サービス接遇検定3級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を身につける お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける			
授業終了時の到達目標			
サービス接遇検定3級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様の心理を理解することができる 他人への配慮を理解し、実践できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	一般企業で接客業（ショールームアドバイザー）トリマーとしての実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修			
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする			
回	テーマ	内 容	
1	授業説明	授業の目的 検定概要 授業の進め方について 評価方法 接客を学ぶ意義	
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている ②適切な判断と表現ができる ③身だしなみを心得ている	
3	I サービススタッフの資質	(2) 従業条件 ①良識を持ち、素直な態度がとれる ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる ③清潔感について、理解できる ④忍耐力のある行動を、とることができる	
4	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質	
5	II 専門知識	(1) サービス知識 ①サービスの意義を、一応、理解できる ②サービスの機能を、一応、理解できる ③サービスの種類を知っている (2) 従業知識 ①商業用語、経済用語が理解できる 過去問題	
6	III 一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識が理解できる ②時事問題を、一応、理解できる 過去問題	

回	テ ー マ	内 容		
7	IV対人技能	(1) 人間関係 ①一般的に、人間関係が理解できる (2) 接遇知識 ①対人心理が理解できる ②一般的なマナーを心得ている ③接遇者としてのマナーを心得ている		
8	IV対人技能	(3) 話し方 ①接遇用語を知っている ②接遇者としての基本的な話し方が理解できる ③提示、説明の仕方が理解できる		
9	IV対人技能	(4) 服装 ①接遇者としての適切な服装が理解できる 過去問題（選択問題・記述問題）		
10	V実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、理解できる (2) 環境整備 ①環境整備について、理解できる		
11	V実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、理解できる (4) 社交業務 ①社交儀礼について、理解できる		
12	V実務技能	過去問題（選択問題・記述問題）		
13	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
14	期末テスト	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
15	期末テスト解説	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定3級公式テキスト タブレット		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 真紀

授業の概要

講義

日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける

授業終了時の到達目標

犬の種類や特徴を知り訓練や販売や看護の仕事で役にたつようにする
犬の生態を知ることによって扱いに気を配ることができる

実務経験有無

実務経験内容

有

トリマー、ブリーダー、ハンドラーとして20年以上
常にお客様から受ける相談をもとに授業をすすめる。

時間外に必要な学修

グルーミング実習時に担当した犬種をよく観察すること

準備学習

回	テーマ	内容
1	なぜ犬の種類ができたのか	犬の種類がなぜ増えていったのかを説明する
2	犬の体を知ろう	犬の部位名称や歯列やかみ合わせの説明
3	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	第1グループに属する犬種の特徴と各犬種の特徴 オーストラリアン・シェパード・ボーダーコリー
4	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエルシュ・コーギーペンブローグ ウエルシュ・コーギーカーディガンの違いの説明
5	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ジャーマンシェパードの説明 シェパードの歴史と牧羊犬の役割の解説
6	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ラフ・コリーとスムース・コリー、シエルティの解説 作出に関する歴史の説明
7	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	大型犬の作出の歴史を説明 グレート・ピレニーズの解説
8	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	テリアの特徴の説明と ジャックラッセルの説明
9	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエストハイランドホワイトテリア スコティッシュテリア 短脚テリアのまとめ
10	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	長脚テリアの特徴の説明 種類の解説 管理方法
11	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ヨークシャテリアの説明 それに影響された犬種の説明
12	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ワイヤーフォックステリア説明
13	小テスト	期末試験までの準備のため
14	期末試験のためのおさらい	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新犬種図鑑		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		森, 三村, 野崎, 糸瀬
授業の概要			
グルーミングに必要な犬の扱いと、美容用具の扱い方を学ぶ			
授業終了時の到達目標			
正しい作業方法を覚える			
実務経験有無	実務経験内容		
有	<p>【実務経験】 吉本真紀 トリマー 森 純子 トリマー 三村梨恵 トリマー 野崎真優 トリマー 糸瀬春奈 トリマー</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる</p>		
時間外に必要な学修			
回	テーマ	内容	
1~2	導入	実習における注意事項を説明 道具の種類および使用方法を説明 グルーミングの作業の流れを説明	
3~30	基礎	シザーの持ち方・開き方を学ぶ ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ	
教科書・教材		評価基準	評価率
ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%
			【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
トレーニング実習 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		藤原 あかね	
授業の概要				
犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
訓練基礎を習得することが出来る(待て、おすわり)				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
【準備学習】テキストを読んで予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~14	基本学習	おやつ・言葉のタイミング		
15	期末試験 (実技試験)	期末試験 (実技試験) の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		実習・実技評価	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子

授業の概要

動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。

授業終了時の到達目標

生命の基本構造について説明できる。血液と造血器について説明ができる。
血液循環とその調節について説明ができる。生体の防御機構について説明ができる。
脳と神経について説明ができる。感覚と情報伝達について説明ができる。

実務経験有無

実務経験内容

有

動物病院における獣医師としての診療業務 5年
医療用医薬品メーカーにおけるMR (医薬情報担当者) への教育訓練業務 7年

時間外に必要な学修

小テストに向けての自主学習

回	テーマ	内容
1~4	導入 1) 生命のすがた	1. 体を形づくる基本物質 2. 細胞のしくみと働き 3. 遺伝情報 4. 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織 5. 器官の成り立ちと維持、調節システム
5~7	2) 血液と造血器	1. 血球成分と血漿成分 2. 赤血球の構造と機能 3. 白血球の構造と機能 4. 血小板機能と血液凝固機序及び線維素溶解
8~11	3) 血液循環とその調節	1. 循環器系の概要 2. 心臓のしくみ 3. 心筋の性質 4. 心筋の自動性と興奮の伝わり 5. 心臓の周期 6. 心電図 7. 心臓機能の調節 8. 血管のしくみと働き 9. 血液循環の調節 10. 細血管を横切る物質の移動 11. リンパ系のしくみ 12. 脾臓のしくみ
12~13	4) 生体の防御機構	1. 生体を守る防御機構 2. 自然免疫 3. 獲得免疫

回	テ ー マ	内 容		
14～ 21	5) 脳と神経	1. 脳と神経系の役割 2. 神経系を構成する細胞 3. 静止膜電位と活動電位 4. 興奮伝達とシナプス伝達 5. シナプス 6. 興奮性シナプスと抑制性シナプス 7. 神経伝達物質と受容体 8. 神経回路 9. 神経系 10. 脳の構成要素 11. 脳神経 12. 脊髄と脊髄神経 13. 自律神経 14. 行動の神経調節		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻(エデュワードプレス) 動物看護コアテキスト第3版1「基礎動物学 I」(ファームプレス)		期末試験 確認テスト	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹
授業の概要			
犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する			
授業終了時の到達目標			
動物の行動を科学的に理解し、説明できるようになる 行動発達の過程を理解し、説明できるようになる 動物のトレーニング方法を理解し、実践できるようになる 問題行動への対処法を理解し、実践できるようになる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて2年間勤務		
時間外に必要な学修			
多くの新しい用語が出てきます。解説のなかったものはその都度意味を調べて覚えていきましょう。			
回	テーマ	内容	
1	動物行動学の基本概念	動物行動学の成り立ちと発展 行動学研究の4分野 他	
2	行動進化と適応 維持行動の意味と効果①	行動進化と適応 摂食行動 他	
3	維持行動の意味と効果②	飲水行動、排泄行動、身づくろい行動、護身行動	
4	社会行動①	群れの社会行動	
5	社会行動②	生殖行動 コミュニケーション行動	
6	社会行動③	コミュニケーション行動 つづき 敵対行動と親和的行動	
7	行動発現のしくみ	行動の動機づけと脳による行動の制御 行動の周期性	
8	行動の発達と学習①	行動の発達	
9	行動の発達と学習②	遺伝的要因と環境要因が行動発達に与える影響 馴化と感作 ー学習に影響を与える因子ー	
10	行動の発達と学習③	古典的条件づけとオペラント条件づけ	
11	問題行動と行動診療①	問題行動とは 問題行動診療とは	
12	問題行動と行動診療②	問題行動治療の実際の手順 問題行動診療で用いるその他の方法	
13	犬と猫における主な問題行動①	攻撃行動	
14	犬と猫における主な問題行動②	犬の恐怖・不安に起因する問題行動 猫の排泄に関する問題行動 他	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	動物行動学についての期末試験を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻（エデュワードプレス） 授業データ		期末試験 小テスト	80% 20%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物看護関連法規	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (15時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
<p>獣医療における動物看護師の職域や身分などを明示した法令はない。獣医師とのチーム獣医療を構成する動物看護師は、動物看護師が行う獣医医療関連の業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し、獣医療現場及び公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として遵守の精神を養う必要がある。また、社会人として知っておくべき法規について学習する。2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護師の倫理綱領2009」と「動物看護師の業務指針」(2012)についても学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>獣医療に関わる法律について理解し、動物と人が共存する社会の安全を守るために貢献する動物看護師になる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
<p>習ったところは配布資料・教科書を確認して復習する 次回習うところは教科書で予習しておく</p>				
回	テーマ	内 容		
1	法規の概念	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
2	動物看護師を取り巻く獣医療関連法規のアウトラインについて	動物看護師を取り巻く法律の概要を知る		
3	動物看護師の職域に関連する法規①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
4	動物看護師の職域に関連する法規②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
5	動物愛護及び管理に関する法律①	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
6	動物愛護及び管理に関する法律②	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
7	身体障害者補助犬法	法の理念と目的を理解し、専門職としての認識を身につける		
8	まとめ	まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5 (EDUWARD Press)		課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物愛護・適正飼養関連法規	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (15時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
<p>愛護・適正飼養関連法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する獣医療における動物看護師の職域や身分などを明示した法令はない。獣医師とのチーム獣医療を構成する動物看護師は、動物看護師が行う獣医医療関連の業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し、獣医療現場及び公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として遵守の精神を養う必要がある。また、社会人として知っておくべき法規について学習する。2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護者の倫理綱領2009」と「動物看護者の業務指針」(2012)についても学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>愛護・適正飼養関連法規と動物看護師の関わりについて説明できる 動物の愛護及び管理に関する法律の概要を説明できる 愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律の概要を説明できる 身体障害者補助犬法について概要を理解する 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の概要を説明できる 野生動物等に関する法律及び条約について概要を説明できる</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として22年間、動物病院に勤務			
時間外に必要な学修				
習ったところは配布資料、教科書で復習し、次回習うところも教科書で予習しておく				
回	テーマ	内容		
1～2	愛護・適正飼養の基本となる概念	愛護・適正飼養に関連する法規		
3～4	野生動物等に関する法律および条約	野生動物等に関する法律および条約の概要		
5～6	社会福祉行政・環境衛生法規	社会福祉行政・環境衛生法規の概要		
7	まとめ	まとめ		
8	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物看護学概論	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (30時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
<p>小動物診療は、ますます高度化し動物病院においては獣医師の他に、種々の動物医療関連業務に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、社会的債務を理解した動物看護師として獣医師の補助的サポートだけではなく、専門職としての職業意識を形成する。</p>				
授業終了時の到達目標				
動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、22年間動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
前回習ったところは配布資料で復習し、次回習うところにおいては教科書、配布資料で予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~2	動物看護学概論①	動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を学ぶ		
3~4	動物看護学概論②	動物看護学を学ぶ上で、倫理を考える		
5	動物看護学概論③	動物看護師の業務について考える		
6	動物看護学概論④	動物にとっての福祉・健康・QOLについて考える		
7~8	動物看護学概論⑤	動物看護学が必要な場面とはどんな場面なのか。そして動物看護師が活躍できるのはどんな時なのかを学ぶ。		
9~10	動物看護学概論⑥	動物看護を实行するうえで必要な動物看護師の技術について学ぶ。		
11~12	動物看護学概論⑦	診療場面での動物看護師の役割について知る		
13~14	動物看護学概論⑧	獣医療の歴史、動物看護と国家資格化の軌跡を知る		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 (エデュワードプレス) 配布資料		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		鈴木 ひとみ
授業の概要			
<p>伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物（細菌、真菌、原虫、ウイルス）について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。</p>			
授業終了時の到達目標			
授業概要に記載。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	獣医師としての10年の実務経験		
時間外に必要な学修			
身近な感染症について様々な媒体を通して調べる			
回	テーマ	内容	
1	感染・感染症とは	感染、発症、感染症の定義が言えるようになる。また、感染症の経過を理解する	
2	感染症の種類	感染症の種類について学習し、それぞれの意味を答えられるようになる	
3	感染が成り立つには	感染が成立するために必要な3つの要因が言えるようになる。それに加えて、感染が成立するか否かを決める3つの力関係についても学習する	
4	微生物学	微生物の定義、その対象、性状の違いを知る 病原微生物とは何かが説明できるようになる	
5	微生物学 細菌	細菌の性状を知る 細菌の構造を知る	
6	微生物学 細菌	細菌を観察する際に行う染色について学ぶ 細菌の発育や増殖に必要な栄養素と、増殖に関わる因子を知る 細菌培養の目的と細菌の分類について学ぶ	
7	微生物学 イヌ、ネコの主な細菌感染症	イヌ、ネコの主な細菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ	
8	微生物学 イヌ、ネコの主な細菌感染症	イヌ、ネコの主な細菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ	
9	微生物学 真菌	真菌とは何か、その形態と増殖様式を知る 主な病原性真菌と検査法について学ぶ	
10	微生物学 イヌ、ネコの主な真菌感染症	イヌ、ネコの主な真菌感染症の病原菌、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ	
11	微生物学 原虫	原虫とは何かを知り、その分類と増殖様式、検査法を学ぶ	
12	微生物学 イヌ、ネコの主な原虫感染症	イヌ、ネコの主な原虫感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ	

回	テ ー マ	内 容		
13	微生物学 ウイルス	ウイルスとは何か、その性状と分類について学ぶ ウイルスの増殖と、感染の経過について学ぶ		
14	微生物学 イヌの主なウイルス感染症	イヌの主なウイルス感染症の病原体、感染経路、症状、治療・予防を学ぶ		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書第3巻（緑書房）		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林、齋藤小、長尾
授業の概要			
犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。			
授業終了時の到達目標			
1) 動物の基本的な取り扱いができ、一般身体検査全般ができる 2) 診察準備や衛生管理、保定、その他診療補助ができる 3) 輸液や薬剤投与など内科診療技術を修得する			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院で動物看護師として2年間勤務		
時間外に必要な学修			
繰り返しの反復練習を繰り返す			
回	テーマ	内容	
1	動機づけ 授業の流れ、実習室について	動機づけ、実習のルール、実習室について、掃除の仕方	
2	事前学習問題確認テスト 実習犬猫とのふれあい	入学前学習の確認テスト 犬猫ふれあい	
3	保定の基礎	保定の基礎知識、保定の種類、保定に使用する道具	
4	バイタルチェック	バイタルチェック	
5	日常の健康管理	耳、肛門嚢、眼 など	
6	全身検査① フィラリア予防	全身検査 フィラリア予防	
7	全身検査②	全身検査	
8	病気の予防について RVについて	病院で行う予防できる病気について	
9	注射器の取扱い方	注射器・注射針の種類、薬液保存容器 など	
10	投薬 フィラリア予防	錠剤、粉薬、目薬 など投薬方法 フィラリア予防	
11	入院管理①	入院管理 (GW) (入院環境の適正管理、ストレス緩和方法、散歩、運動、排泄管理)	
12	入院管理②	入院管理 (GW) (幼齢・老齢動物管理、栄養管理、排泄援助、清潔援助、糞法)	
13	応急処置	応急処置	

回	テーマ	内 容		
14	皮膚と耳の検査に関わる技術	皮膚科の検査 耳介・耳道の検査		
15	期末試験	筆記試験実施（プリント持ち込み可。プリントを元に考えるテストを実施）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩等物看護師カリキュラム準拠教科書7巻（EDUWARD Press） 動物看護実習テキスト（EDUWARD Press）		期末試験 課題レポート	70.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
愛玩動物学 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
愛玩動物看護師は様々な動物の看護に携わる可能性があり、また、その飼い主へ飼養管理指導をする場面も想定される。前期では犬と猫の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育方法について理解する。また、使役動物の役割や社会的な意義を理解する。			
授業終了時の到達目標			
愛玩動物の特性を学びそれぞれの動物の看護を適切に実践することができる、また、飼い主へ適切な飼養管理をアドバイスできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・犬の歴史と代表的な品種、その活用や品種に適したグルーミングを理解し、説明することができる。 ・猫の歴史と代表的な品種、その活用や品種に適したグルーミングを理解し、説明することができる。 ・犬と猫について、飼育方法の基本や衛生管理を理解し、看護に活かすことができる。 ・使役動物について理解し、説明することができる。 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院における獣医師としての診療経験 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR (医薬情報担当者) への教育訓練経験 7年		
時間外に必要な学修			
各項目についての復習 各章ごとに実施される課題の提出または確認テストのための学修			
回	テーマ	内 容	
1~5	犬の歴史・品種・飼養管理	1) 歴史 2) 現在の飼養状況 3) 犬の活用 4) 代表的な品種の特徴 5) 飼養管理 6) 品種に適したグルーミング	
6~8	猫の歴史・品種・飼養管理	1) 歴史 2) 現在の飼養状況 3) 猫の活用 4) 特徴 5) ライフサイクル 6) 代表的な品種の特徴 7) 飼養管理 8) 品種に適したグルーミング	
9	血統と血統書	1) 血統書の意義 2) 血統書の読み取り方 3) 血統管理と品種改良	
10~13	動物の基本的な取り扱い	1) 動物を安全に散歩・運動させ、触れ合わせることの意義 2) 基本的グルーミング (シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門腺処置、口腔内衛生管理など) 3) 定期的な予防管理 4) 適切な飼養環境やストレスの緩和方法	
14	使役動物	1) 使役動物の歴史と福祉 2) 身体障害者補助犬 (盲導犬、介助犬、聴導犬) 3) その他の使役犬	
15	期末試験	期末試験実施	
教科書・教材		評価基準	評価率
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6巻 (エデュワードプレス)		課題・レポート 期末試験	40.0% 60.0%
			その他

回	テーマ	内 容		
	愛玩動物看護師の教科書6(緑書房) 愛玩動物看護師必携テキスト(学研) イラストでみる猫学(講談社)			

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習 I	動物看護総合学科/1年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		林、齋藤小、長尾
授業の概要			
犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。			
授業終了時の到達目標			
1) 動物の基本的な取り扱いができ、一般身体検査全般ができる 2) 診察準備や衛生管理、保定、その他診療補助ができる 3) 輸液や薬剤投与など内科診療技術を修得する			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院で動物看護師として2年間勤務		
時間外に必要な学修			
繰り返しの反復練習を繰り返す			
回	テーマ	内容	
1	動機づけ 授業の流れ、実習室について	動機づけ、実習のルール、実習室について、掃除の仕方	
2	事前学習問題確認テスト 実習犬猫とのふれあい	入学前学習の確認テスト 犬猫ふれあい	
3	保定の基礎	保定の基礎知識、保定の種類、保定に使用する道具	
4	バイタルチェック	バイタルチェック	
5	日常の健康管理	耳、肛門嚢、眼 など	
6	全身検査① フィラリア予防	全身検査 フィラリア予防	
7	全身検査②	全身検査	
8	病気の予防について RVについて	病院で行う予防できる病気について	
9	注射器の取扱い方	注射器・注射針の種類、薬液保存容器 など	
10	投薬 フィラリア予防	錠剤、粉薬、目薬 など投薬方法 フィラリア予防	
11	入院管理①	入院管理 (GW) (入院環境の適正管理、ストレス緩和方法、散歩、運動、排泄管理)	
12	入院管理②	入院管理 (GW) (幼齢・老齢動物管理、栄養管理、排泄援助、清潔援助、罨法)	
13	応急処置	応急処置	

回	テーマ	内 容		
14	皮膚と耳の検査に関わる技術	皮膚科の検査 耳介・耳道の検査		
15	期末試験	筆記試験実施（プリント持ち込み可。プリントを元に考えるテストを実施）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩等物看護師カリキュラム準拠教科書7巻（EDUWARD Press） 動物看護実習テキスト（EDUWARD Press）		期末試験 課題レポート	70.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける			
授業終了時の到達目標			
自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することが出来る 就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る			
実務経験有無	実務経験内容		
無			
時間外に必要な学修			
将来の就職先及び業界について企業研究を行っておく 「物の見方」「考え方」「行動の仕方」を意識的に前向きにして「気づくこと」を習慣化する			
回	テーマ	内容	
1	動機付け 社会人基礎講座で学ぶこと	動機付け 社会人基礎講座で学ぶことの解説 他の科目や社会に出てからの関連性の解説	
2	話の聴き方	聞く耳を持つことが成長につながることを説明する まず、授業・学生生活で実行するよう促す	
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わっていくことを説明する	
4	モノの見方	自分のモノの見方の特徴を把握する モノの見方を広くする方法について モノの見方を広くするための行動について モノの見方の難しさを再確認する	
5	就職活動の世界を知る	就職活動の心構えについて 就職活動の目的を考える 自分の何を伸ばすのかを考える 自分の中で補うポイントを把握する	
6	記憶をたどる	自分が過去に経験したことを振り返る 経験から身につけた自分の強みを明確にする	
7~ 8	自分を知る工夫	自分の特徴をアウトプットする 他者取材を通して表現の幅を広げる 他者の表現から学び取る力	
9~ 12	履歴書の書き方と伝え方	履歴書の左半分を書く上での注意点を解説する 履歴書を下書きをして清書するまでの作業を行う 志望動機以外の欄の下書きを作成する 自己紹介・趣味特技・特記事項を作成する 資格・免許・表彰を記入させる 志望動機以外の欄の清書を完成させる 志望動機の作成方法を解説する	
13	情報収集	業界研究と仕事研究 情報検索の方法	
14	興味がある仕事について	仕事内容と求める人材について調べる 自分の現状を課題と具体的行動を考える	

回	テ ー マ	内 容		
15	まとめ	今までの振り返り 履歴書の完成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 就職の手引き		課題・レポート	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇講座Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		三村 梨恵
授業の概要			
<p>サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、動物看護師・ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける</p>			
授業終了時の到達目標			
<p>サービス接遇検定2級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様心理を理解し、それに合った対応をすることができる 他人への配慮を理解し、実践できる</p>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	一般企業で接客業（ショールームアドバイザー）トリマーとしての実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修			
<p>買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする</p>			
回	テーマ	内容	
1	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている。 ②適切な判断と表現ができる。 ③身だしなみを心得ている。	
2	I サービススタッフの資質	(2) 従業要件 ①良識を持ち、素直な態度が取れる。 ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる。 ③清潔感について、理解できる。 ④忍耐力のある行動を、取ることができる。	
3	I サービススタッフの資質	過去問題	
4	II 専門知識	(1) サービス知識 ①サービ意義を理解できる。 ②サービスの機能を理解できる。 ③サービスの種類を理解できる。	
5	II 専門知識	(2) 従業知識 ①商業活動、経済活動が理解できる。 ②商業用語、経済用語が理解できる。 過去問題	
6	III 一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識がある ②時事問題を理解している 過去問題	

回	テ ー マ	内 容		
7	IV対人技能	(1) 人間関係 ①人間関係の対処について、理解がある (2) 接客知識 ①顧客心理を理解し、能力を発揮することができる ②一般的なマナーを発揮できる ③接客者としてのマナーを発揮することができる		
8	IV対人技能	(3) 話し方 ①接客用語を知っている ②接客者としての話し方ができる ③提示、説明ができる (4) 服装 ①接客者としての適切な服装ができる		
9	IV対人技能	過去問題（選択問題・記述問題）		
10	V実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、対処できる (2) 環境整備 ①環境整備について、対処できる		
11	V実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる		
12	V実務技能	(4) 金品輸送 ①送金、運搬について、理解できる		
13	V実務技能	(5) 社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある		
14	期末テスト	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
15	期末テスト解説	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV 対人技能 V 実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定2級公式テキスト タブレット		期末試験	100.0%	検定結果を期末の 代わりにします。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 真紀
授業の概要			
講義 犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする			
授業終了時の到達目標			
犬の特徴を知りお客様の相談に対応できるようになる			
実務経験有無		実務経験内容	
有		トリマー、ハンドラー、ブリーダー歴20年以上の経験から日頃お客様と対応する内容をもとにアドバイスができる	
時間外に必要な学修			
実習関連時に犬をよく観察すること			
回	テーマ	内容	
1	第4グループ犬種説明	ダックスフンドの特徴と沿革の説明	
2	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	シベリアンハスキーとアラスカンマラミュートの違い	
3	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	ポメラニアンや他のスピッツタイプの説明	
4	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	日本犬の特徴と説明	
5	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ビーグルなどの説明	
6	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ダルメシアンの特徴	
7	第7グループ犬種説明と各犬種の説明	セターとワイマラナーの説明	
8	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	アメリカン・コッカーの説明	
9	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	スパニエル系のまとめ	
10	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	レトリーパー系のまとめ	
11	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	プードルの説明	
12	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	チワワキャバリアなどの説明	
13	小テスト	期末試験の準備	
14	第10グループ犬種説明と各犬種の説明	サイトハウンドの特徴	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	最新犬種図鑑	期末試験	100.0%	準備学習 次にする犬種をイメージするために 本を読んでおく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC II	動物看護総合学科/1年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		森, 三村, 野崎, 糸瀬
授業の概要			
グルーミング作業 (ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り) をできるようになる			
授業終了時の到達目標			
1人でグルーミング作業をできるようになる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	<p>【実務経験】 吉本真紀 トリマー 森 純子 トリマー 三村梨恵 トリマー 野崎真優 トリマー 糸瀬春奈 トリマー</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる</p>		
時間外に必要な学修			
【準備学習】 シザー練習をしておく			
回	テーマ	内容	
1~30	基礎の復習	グルーミング犬種を中心に実習を行い前期に学んだ基礎の復習を行う	
教科書・教材		評価基準	評価率
最新ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%
			【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

作成者:藤原 あかね

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
トレーニング実習Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位(30時間)	必須		藤原 あかね	
授業の概要				
犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
基礎訓練を習得する(脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼)				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
【準備学習】テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~15	行動学習	脚側行進・伏臥・停座・据座・立止・招呼		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位(60時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化についても学ぶ基盤を確立する。			
授業終了時の到達目標			
<p>からだの支持と運動について説明ができる。 外皮系と体温調節について説明ができる。 呼吸とその調節について説明ができる。 内分泌とホルモンについて説明ができる。 消化吸収と栄養代謝について説明ができる。 尿の生成と体液調節について説明ができる。</p>			
実務経験有無		実務経験内容	
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年 動物系専門学校における動物看護系教員 1年	
時間外に必要な学修			
小テストに向けての自主学习			
回	テーマ	内 容	
1~8	7) からだの支持と運動	1. 体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分 2. 骨格 3. 骨格筋	
9~10	8) 外皮系と体温調節	1. 外皮 2. 皮膚の付属器官 3. 皮膚による体温調節	
11~12	9) 呼吸とその調節	1. 呼吸器の構造 2. 呼吸	
13~16	10) 内分泌とホルモン	1. 内分泌とは一外分泌や傍分泌の違い 2. ペプチドホルモン、ステロイドホルモンおよびアミン型ホルモンとは 3. 内分泌系の基本構造と機能 4. 視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、ランゲルハンス島、消化管ホルモンの機能	

回	テーマ	内 容		
17～ 23	11) 消化吸収と栄養代謝	1. 歯の分類と数 2. 舌の形と働き 3. 咽頭と嚥下 4. 食道 5. 胃のしくみと働き 6. 腸のしくみと働き 7. 唾液腺 8. 膵臓 9. 肝臓 10. 炭水化物の消化と吸収 11. タンパク質の消化と吸収 12. 脂肪の消化と吸収 13. 代謝総論 14. 三大栄養素の分子のしくみ 15. 代謝経路の概要 16. 炭水化物（糖質）の代謝経路 17. タンパク質の代謝経路 18. 脂質の代謝経路 19. ビタミン 20. ミネラル		
24～ 29	12) 尿の生成と体液調節	1. 腎臓 2. 尿路 3. 体液 4. 電解質バランス 5. 酸・塩基平衡		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻(エデュワードプレス) 動物看護コアテキスト第3版1「基礎動物学Ⅰ」(ファームプレス)		期末試験 確認テスト	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位(30時間)	必須		鈴木 ひとみ

授業の概要

伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。

授業終了時の到達目標

感染・発症の定義、感染の成り立ちについて学習し、主にイヌやネコに感染する微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)について、性状と構造、分類、感染経路、病害発生の機序、予防法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

実務経験有無 実務経験内容

有

獣医師としての10年の実務経験

時間外に必要な学修

身近な感染症について様々な媒体を通して調べる

回	テーマ	内容
1	試験見直しと復習	感染症学Ⅰの試験の見直しと感染症学Ⅰの内容を復習する
2	復習	感染症学Ⅰの内容を復習する
3	感染症⑪	動物に関連する感染症について学ぶ
4	感染症⑫	動物に関連する感染症について学ぶ
5	感染症⑬	動物に関連する感染症について学ぶ
6	感染症⑭	動物に関連する感染症について学ぶ
7	感染症⑮	動物に関連する感染症について学ぶ
8	感染症⑯	動物に関連する感染症について学ぶ
9	中間まとめ①	ここまで学んだ内容について復習する
10	中間まとめ②	ここまで学んだ内容について復習する
11	ワクチン①	ワクチンの仕組みについて学習する
12	ワクチン②	ワクチンの仕組みについて学習する
13	ワクチン③	ワクチンの種類、内容について学習する
14	最終まとめ	感染症学Ⅱで学んだことを復習する

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト3巻（ファームプレス）	期末試験	100.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する マンガ「はたらくさいぼう」を読む

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位(30時間)	必須		林、齋藤小、長尾
授業の概要			
内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録などについて理解する。			
授業終了時の到達目標			
犬猫の基礎的な形態機能知識を身に付ける。 基本的な看護の基礎知識・技術を身に付ける。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物看護師として2年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修			
繰り返しの反復練習を繰り返す			
回	テーマ	内容	
1	導入 厳しめの保定	犬猫の駆血保定	
2	糞便検査	糞便検査手技、採便方法、実習	
3	マイクロチップ	マイクロチップについて フィラリア予防	
4	投薬	投薬方法、ワクチン準備	
5	血液検査	血液検査について、採血と保定	
6	尿検査	尿検査手技、採尿方法、実習	
7	穿刺・吸引、酸素吸入	穿刺・吸引について、酸素吸入について	
8	動物病院について、動物看護職について など	導入、動物病院について、動物看護師の仕事について、動物業界の仕事に就くにはどんな人材が求められるか。等	
9	輸液①	輸液について(皮下点滴) ノミ・マダニ予防	
10	輸液②	輸液について(静脈点滴)、輸液ポンプ、留置針	
11	輸液③	輸液について(静脈点滴)、輸液ポンプ、留置針	
12	留置針練習	留置確保の練習	
13	保定(復習)	これまでに学習したすべての保定	
14	注射器の取扱い(復習)	様々な状況での注射器の取扱い	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	筆記試験実施（持ち込み可）		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩等物看護師カリキュラム準拠教科書7 巻（EDUWARD Press） 動物看護実習テキスト（EDUWARD Press）	期末試験 課題レポート	70.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学総論	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		長尾 美花

授業の概要

動物看護師は、獣医師の診断と治療方針のもとで動物の補助や飼い主を支える専門職として、重要な役割を果たすようになってきている。そのためには獣医師の職域とは異なる動物看護師の視点で動物を見られるようになることが必要である。「動物臨床看護学総論」では、動物看護学各論で学んだ概要を再度復習し、動物看護師の役割、目的などを振り返る。動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、補助技術と共に獣医学の種々の知識が必要であることは言うまでもない。人の言葉を話せず、習性や生態もちがう動物の心理的な状態を予測すること、看護動物を取り巻く社会的な影響として環境や飼い主家族の特徴をとらえることは、家庭でのお世話を継続して貰うために非常に大切である。チーム獣医療の中で動物看護師がどのような視点で看護を行うべきか症状別の看護のポイントを学ぶ。

【実務経験】相澤梨子：動物看護師として4年半の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として、22年間動物病院で勤務

時間外に必要な学修

習ったところは配布資料で確認、次回習うところは教科書で予習しておく
課題などを行った際は再度、同じ課題をやってみる

回	テーマ	内容
1	動物看護学概論	臨床動物看護学の開始前に1年次の復習として動物看護について学び直す
2	動物看護学概論 2	動物看護技術の要素とは何かを知ることにより看護技術について知ることができる
3	動物看護学概論 3	動物看護技術の要素とは何かを知ることにより看護技術について知ることができる
4	動物看護者の倫理綱領	「動物看護者の倫理綱領2009」について学ぶ
5	動物看護技術の基盤	動物看護を遂行する動物看護師に必要な技術について
6	動物看護技術の基盤 2	動物看護を遂行する動物看護師に必要な技術について
7	動物看護技術の基盤 3	動物看護を遂行する動物看護師に必要な技術について
8	症状別の動物看護	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる
9	症状別の動物看護 2	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる
10	症状別の動物看護 3	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる

回	テーマ	内 容		
11	症状別の動物看護 4	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
12	症状別の動物看護 5	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
13	症状別の動物看護 6	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
14	症状別の動物看護 7	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
15	症状別の動物看護 8	臨床的な症状を観察し、それから推測できる原因や看護動物の今を知ることにより看護動物が安全な看護を受けられるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 課題・レポート	60.0% 40.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
愛玩動物学Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
愛玩動物看護師は様々な動物の看護に携わる可能性があり、また、その飼い主へ飼養管理指導をする場面も想定される。エキゾチックアニマルの歴史や品種、身体的特徴、適切な飼育方法、代表的な病気について理解する。			
授業終了時の到達目標			
愛玩動物の特性を学びそれぞれの動物の看護を適切に実践することができる、また、飼い主へ適切な飼養管理をアドバイスできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・愛玩鳥の特性や飼養管理を理解し、看護に活かすことができる。 ・ウサギの特性や飼養管理を理解し、看護に活かすことができる。 ・フェレットの特性や飼養管理を理解し、看護に活かすことができる。 ・げっ歯類の特性や飼養管理を理解し、看護に活かすことができる。 ・は虫類の特性や飼養管理を理解し、説明することができる。 ・エキゾチックアニマルの繁殖過程を理解し、説明することができる。 			
実務経験有無		実務経験内容	
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR (医薬情報担当者) への教育訓練業務 7年	
時間外に必要な学修			
各項目についての復習			
回	テーマ	内 容	
1~4	愛玩鳥の特徴・生態・飼養管理	0. エキゾチックアニマルとは 1. 歴史 2. 現在の飼養状況 3. 代表的な品種の特徴 4. 飼養管理	
5~6	ウサギの特徴・生態・飼養管理	1. 背景 2. 特徴 3. 飼養管理	
7	フェレットの特徴・生態・飼養管理	1. 背景 2. 特徴 3. 飼養管理	
8~9	げっ歯類の特徴・生態・飼養管理 (ハムスター・モルモット・リス)	1. 背景 2. げっ歯類の分類・生態・特徴 3. げっ歯類の飼養管理	
10	は虫類(カメ)の特徴・生態・飼養管理	1. 背景と品種 2. 性質と特徴 3. 飼育管理	
11	は虫類(トカゲヤモリ)の特徴・生態・飼養管理	1. 背景と品種 2. 性質と特徴 3. 飼育管理	
12	は虫類(ヘビ)の特徴・生態・飼養管理	1. 背景と品種 2. 性質と特徴 3. 飼育管理	
13	エキゾチックアニマルの繁殖過程	1. 性周期 2. ウサギ 3. げっ歯類 4. フェレット 5. 鳥類	

回	テ ー マ	内 容		
14	期末試験			
15	期末試験の振り返り			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書6 巻(エデュワードプレス) 愛玩動物看護師の教科書6(緑書房) やさしいエキゾ学(インターズー) カラーアトラス エキゾチックアニマル 鳥類偏(緑書房)		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅱ	動物看護総合学科/1年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		林、齋藤小、長尾
授業の概要			
内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録などについて理解する。			
授業終了時の到達目標			
犬猫の基礎的な形態機能知識を身に付ける。 基本的な看護の基礎知識・技術を身に付ける。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物看護師として2年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修			
繰り返しの反復練習を繰り返す			
回	テーマ	内容	
1	導入 厳しめの保定	犬猫の駆血保定	
2	糞便検査	糞便検査手技、採便方法、実習	
3	マイクロチップ	マイクロチップについて フィラリア予防	
4	投薬	投薬方法、ワクチン準備	
5	血液検査	血液検査について、採血と保定	
6	尿検査	尿検査手技、採尿方法、実習	
7	穿刺・吸引、酸素吸入	穿刺・吸引について、酸素吸入について	
8	動物病院について、動物看護職について など	導入、動物病院について、動物看護師の仕事について、動物業界の仕事に就くにはどんな人材が求められるか。等	
9	輸液①	輸液について(皮下点滴) ノミ・マダニ予防	
10	輸液②	輸液について(静脈点滴)、輸液ポンプ、留置針	
11	輸液③	輸液について(静脈点滴)、輸液ポンプ、留置針	
12	留置針練習	留置確保の練習	
13	保定(復習)	これまでに学習したすべての保定	
14	注射器の取扱い(復習)	様々な状況での注射器の取扱い	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	筆記試験実施（持ち込み可）		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩等物看護師カリキュラム準拠教科書7 巻（EDUWARD Press） 動物看護実習テキスト（EDUWARD Press）	期末試験 課題レポート	70.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習 I	動物看護総合学科/1年	2026/後期	実習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (60時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 動物病院の概要（地域特性、診療方針、スタッフの構成等）を理解する 動物病院内で動物看護師の実際の業務や獣医師、動物看護師との連携を理解する 学内でのカリキュラム、各教科と実際の業務との関連を知ること、必要性や目的を理解し、意欲の向上を図る 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて8年間勤務		
時間外に必要な学修			
動物病院のことを調べ、自分に合った場所を見つける			
回	テーマ	内容	
1~5	理解型実習	オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する	
6~10	理解型実習	獣医師・動物看護師の業務内容（役割の違い、一日の流れなど）を把握する	
11~15	理解型実習	動物病院の施設を見学し、施設の概要や機能を理解する	
16~20	理解型実習	動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する	
21~25	理解型実習	学習者として適切に行動できるよう、社会常識やマナーを実践する	
26~30	理解型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を知り、必要性を理解する	
教科書・教材		評価基準	評価率
		実習・実技評価	100.0%
			<ul style="list-style-type: none"> 「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する 【衛生・健康管理】（優）8点（良）7点（可）6点（不可）5点 【接遇マナー、勤務状態】（優）6点（良）5点（可）4点（不可）3点 ・合計で100点満点とする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
社会人基礎講座Ⅱ	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位(30時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
<p>専門学校での学習の意味を理解し、進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。 就職活動に必要な知識・技術を学び習得する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することができる。また、随時改善していくことができる。 実際の就職活動を想定し、各が自主的かつ効果的に活動することができる。</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
企業情報、求人情報等の習得等				
回	テーマ	内容		
1	後期オリエンテーション 就職研修の振り返り	就職活動に対する再確認、就職研修の自己評価		
2~ 3	文章の書き方と構成の仕方	「伝えたいことがある」から文章を書く 一度読んだだけで理解できるように文章を書く 「事実」と「解釈」を分けて書く 要点を押さえる、キャッチコピーの作り方		
4~ 5	自己PRを書く	自己PR4の基礎を押さえる、 「3つの話題」、「3つの問い」、「20答法」 10のステップ		
6~ 7	志望動機を書く	志望動機と志望理由、ゴールデンサークル理論、 スパイダー・ダイアグラム、モチベーショングラフ		
8~ 9	学生時代に力を入れたことを書く	書く要素を知る、STAR法、結果よりもプロセス		
10	プレゼンの基本と応用	ロサダの法則、プレゼンテーションとは、 手の動きが相手に与える印象、緊張≠コンプレックス		
11~ 12	ディスカッションの基本と応用	ディスカッションの心得、2つの約束事、形式と流れ、 グループディスカッション、 ノンバーバルコミュニケーション		
13	面接の基本	礼儀作法、、声・視線・ボディランゲージ、 身だしなみ、よく聞かれる質問、面接の評価		
14	オンライン面接・ディスカッション	対面式・ハイブリッド型・ハイフレックス型、 オンラインの特徴、伝え方の基本		
15	まとめ・振り返り	自己評価、プレゼンテーション		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
熱血!森吉弘の就活ゼミ教材 就職の手引き		課題・レポート	60.0%	
		出席率	40.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇講座Ⅲ	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(20時間)	必須		三村 梨恵
授業の概要			
サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける 接客の基本を学ぶことにより、ペット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する			
授業終了時の到達目標			
サービス接遇検定準1級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる(敬語・お辞儀) お客様に好感を持たれる接客ができる 他の模範となるような接客ができる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)トリマーとしての実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修			
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする。 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る。 アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とし、接客スキルを上げる。			
回	テーマ	内容	
1	授業内容オリエンテーション 検定概要について	授業の目的 検定概要 授業の進め方について 評価方法について 準備物について	
2	基本言動 接客応答	「基本言動」「接客応答」を理解する 検定の流れを理解する 基本言動 「いらっしゃいませ」 「ありがとうございました」 「はい、承知しました」 「いかがでございますか」 接客応答 「お客様、お忘れ物でございますが」 「お客様、お荷物をお預かりいたします」 「どうぞご自由にお持ちくださいませ」 「ご案内いたしますのでこちらへどうぞ」 「ご注文はお決まりになりましたでしょうか」 「こちらのお品物でよろしいでしょうか」	
3	基本言動 接客応答	グループ練習 タブレットで録画し、自分の動作を確認する お客様にどうみられているかを理解する	
4	接客対応	八百屋の店員になって接客をする お客様にあわせた接客ができるようになる	
5	練習	検定と同じレイアウトで練習する グループ練習 検定の流れを理解する タブレットで録画し、復習する	

回	テ ー マ	内 容		
6	練習	検定と同じレイアウトで練習する グループ練習 検定の流れを理解する タブレットで録画し、復習する		
7	確認テスト	1組確認テスト 2組グループ練習 2組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
8	確認テスト	2組確認テスト 1組グループ練習 1組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
9	期末テスト	1組期末テスト 2組グループ練習 2組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
10	期末テスト	2組期末テスト 1組グループ練習 1組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定準1級受験ガイド（プリントにて配布） サービス接遇検定2級+準1級 集中レッスン&問題集（プリントにて配布） タブレット		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
トリミング実習BASIC I	動物看護総合学科/2年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		森, 三村, 野崎, 糸瀬	
授業の概要				
1年次のグルーミング実習の復習とスピードアップ 部分的・簡易的な全身カットに必要な、トリミング技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
全国動物専門学校協会 サロントリマー3級合格 2時間以内にグルーミング作業を終わられるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】	吉本真紀 トリマー 三村梨恵 トリマー 糸瀬春奈 トリマー	森 純子 トリマー 野崎真優 トリマー	
豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる				
時間外に必要な学修				
犬を観察しトリミングの完成形のイメージをつくっておく				
回	テーマ	内容		
1~15	基礎	1年次の復習とスピードアップ 部分的なカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プロが教えるベストトリミング ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅲ	動物看護総合学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		藤原 あかね
授業の概要			
犬の集中力・正確さをやしなう			
授業終了時の到達目標			
脚側歩行訓練ができるようになる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	【実務経験】 トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修			
より多くのことができるように日々の練習を繰り返す			
回	テーマ	内容	
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング	
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥	
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ	
教科書・教材		評価基準	評価率
		実習・実技評価	100.0%
			【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物感染症学Ⅲ	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		鈴木 ひとみ

授業の概要

伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する微生物や寄生虫について、それらの特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。感染症を予防するためには、感染症の発生機序、原因となる病原体についての理解が必要である。「動物感染症学Ⅱ」では、動物をとりまく環境と寄生虫の関係について理解し、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を習得する。主にイヌネコに感染する内部寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法、予防法を学び、飼い主に寄生虫感染予防の大切さを伝えられるようにする。

授業終了時の到達目標

病原微生物による感染症について飼い主に説明ができるようになる。
 感染症の予防の重要性を飼い主に説明できるようになる
 ワクチンについて理解し、飼い主にその必要性、注意点が説明できるようになる
 感染症の予防について正しい技術と知識を身に付け、実践できるようになる

実務経験有無 実務経験内容

有	獣医師としての10年の実務経験
---	-----------------

時間外に必要な学修

各項目についての復習
 各章ごとに実施される課題の提出または確認テストのための学修

回	テーマ	内容
1	動物病原体	動物病原体について復習する
2	病原性について	病原微生物の病原性について学習する
3	感染症の予防①	感染の成り立ちに必要な要因から感染予防について考える
4	感染症の予防②	〃
5	感染症の予防③	〃
6	ワクチン①	ワクチンとは何かを学習する
7	ワクチン②	生ワクチンと不活化ワクチンについて学習する
8	ワクチン③	ワクチンの必要性について学習する
9	ワクチン④	ワクチンの効果と副作用について学習する
10	ワクチネーションプログラム①	イヌのワクチネーションプログラムについて学習する
11	ワクチネーションプログラム②	ネコのワクチネーションプログラムについて学習する
12	寄生虫の感染予防①	内部寄生虫の感染予防について学習する
13	寄生虫の感染予防②	外部寄生虫の感染予防について学習する

回	テ ー マ	内 容		
14	まとめ	感染予防について全般的な復習		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3(ファームプレス) 基礎動物看護学3 動物感染症学(インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅲ	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		長尾 美花
授業の概要			
内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する			
授業終了時の到達目標			
授業概要に記載			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院で動物看護師として22年間勤務		
時間外に必要な学修			
誰かに説明し自分の記憶として定着させる			
回	テーマ	内容	
1~3	健康の保持・増進	健康診断の内容と目的	
4	診療補助に必要な技術①	診察における愛玩動物看護師の役割	
5	診療補助に必要な技術②	診察の準備と衛生管理	
6	診療補助に必要な技術③	<ul style="list-style-type: none"> ・動物種ごとに応じた適切な接し方 ・保定の基本、目的および方法 	
7	診療補助に必要な技術④	身体検査とアセスメント項目	
8	検査・処置に必要な技術①	注射器の取り扱いおよび管理方法	
9	検査・処置に必要な技術②	採血の目的と方法	
10	検査・処置に必要な技術③	<ul style="list-style-type: none"> ・採尿の目的と方法 ・穿刺と吸引 ・各種カテーテル挿入 	
11	検査・処置に必要な技術④	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素吸入とは ・マイクロチップの挿入 	
12	投薬に関わる技術①	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の処方 ・内服薬の使用法 ・注射の注射法 	
13	投薬に関わる技術②	<ul style="list-style-type: none"> ・外用薬の使用法 ・薬浴の実施法 ・投薬前後の注意事項 	
14	まとめ		
15	期末試験	期末試験の実施	
教科書・教材		評価基準	評価率
		その他	

回	テーマ	内 容	
	・動物看護コアテキスト第3版「臨床動物看護学Ⅰ（動物内科看護学）」	期末試験 出席率	80.0% 20.0%

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物外科看護学 I	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (30時間)	必須		須崎, 久保	
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内に動物病院を開院し、院長として勤務。これまでの臨床経験や場면을教材とし指導する		
時間外に必要な学修				
わからなかった部分を自分で調べる				
回	テーマ	内容		
1~3	外傷・創傷管理	外傷および創傷管理について学ぶ		
4	術前準備①	<ul style="list-style-type: none"> ・術前準備および術前検査について学ぶ ・無菌的処置の重要性について学ぶ 		
5	術前準備②	<ul style="list-style-type: none"> ・リネン類について学ぶ ・手術器具の種類、準備の仕方を学ぶ 		
6~7	術前準備③	<ul style="list-style-type: none"> ・手術台の準備と動物の適切なポジショニングを学ぶ ・術野の消毒について学ぶ ・手洗い、手術着、手袋の着用法について学ぶ 		
8	麻酔管理①	麻酔処置時における動物看護師の役割について学ぶ		
9	麻酔管理②	麻酔リスクの評価 (ASA分類) について学ぶ		
10	麻酔管理③	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔前投与について学ぶ ・注射麻酔について学ぶ 		
11	麻酔管理④	<ul style="list-style-type: none"> ・吸入麻酔について学ぶ ・麻酔導入時、覚醒時のリスクと対処法について学ぶ 		
12~13	麻酔管理⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔看視項目の監視方法、目的について学ぶ ・麻酔記録の作成法を学ぶ 		
14	まとめ	これまでのまとめを行う		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護実習テキスト (インターズー) ・周術期の動物看護パーフェクトナビ (インターズー) ・動物看護師のための麻酔超入門 (インターズー) 		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論 I	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。			
授業終了時の到達目標			
授業概要に記載			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて8年間勤務		
時間外に必要な学修			
学んだ内容を確認テストにて復習し、次回以降に活かす。			
回	テーマ	内容	
1	代表的な徴候	全身徴候・特異的徴候・特異的病態	
2	代表的な呼吸器疾患 1	1) 呼吸器の復習 2) 肺炎 3) 肺水腫	
3	代表的な呼吸器疾患 2	4) 胸水 5) 犬伝染性気管気管支炎	
4	代表的な呼吸器疾患 3	6) 猫の上部気道疾患 7) 気管虚脱	
5	代表的な呼吸器疾患 4	8) 短頭種気道症候群 9) 気胸	
6	代表的な呼吸器疾患 5	10) ジステンパー	
7	確認テスト	呼吸器疾患のまとめ	
8	代表的な循環器疾患 1	1) 循環器の復習 2) うっ血性心不全	
9	代表的な循環器疾患 2	3) 僧帽弁閉鎖不全症 4) 動脈管開存症	
10	代表的な循環器疾患 3	5) 右大動脈弓遺残症 6) 心室中隔欠損症	
11	代表的な循環器疾患 4	7) 心房中隔欠損症 8) 犬糸状虫症	
12	代表的な循環器疾患 5	9) 拡張型心筋症 10) 肥大型心筋症	
13	代表的な循環器疾患 6	11) 心膜液貯留	
14	確認テスト	循環器疾患のまとめ	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	エドゥワードプレス出版) 愛玩動物看護師 カリキュラム準拠教科書第9巻および第1 巻	期末試験 確認テスト 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	授業の進捗状況に より、授業予定内 容の変更あり

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物臨床検査学	動物看護総合学科/2年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (30時間)	必須		安藤 雄治	
授業の概要				
様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として10年以上動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
わからなかった部分は自分で調べる				
回	テーマ	内容		
1	臨床検査 概論①	<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査における愛玩動物看護師の役割について学ぶ 臨床検査における、基準値、感度、特異度、精度管理について学ぶ 		
2	臨床検査 概論②	検体採取法について学ぶ		
3	血液検査①	<ul style="list-style-type: none"> 血漿、血清の分離法について学ぶ 全血球計算法 (CBC) について学ぶ 		
4~6	血液検査②	血液塗抹の作成および観察法について学ぶ		
7	血液検査③	ヘマトクリット管を用いた検査について学ぶ		
8~9	血液検査④	血液生化学検査の目的と意義について学ぶ		
10	血液検査⑤	血液凝固検査・血液ガス検査の目的と意義について学ぶ		
11	血液検査⑥	血液免疫学的検査の目的と意義について学ぶ		
12~13	尿検査	<ul style="list-style-type: none"> 尿の性状検査について学ぶ 尿沈渣について学ぶ 		
14	まとめ	これまでのまとめを行う		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
臨床動物看護学②「動物臨床検査学」(エデュワードプレス)		期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学実習Ⅲ	動物看護総合学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		長尾 美花

授業の概要

「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。
全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。また、手術関連業務として外科手術に必要な「術前準備と術後業務」「麻酔器・モニター機器」までの意義を理解し、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし適切な取り扱いができるようになる。動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として22年間、動物病院で勤務

時間外に必要な学修

教科書や配布資料、動画をみて予習・復習をする

回	テーマ	内容
1	バイタルチェック	イヌとネコの全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告の仕方を学ぶ
2	衛生管理・入院管理	感染の定義と感染症を理解し、滅菌・消毒・殺菌への理解を深める。また、感染の予防の実践の仕方を学ぶ
3	手術関連業務①	リネン類・手術器具の種類と用途目的を理解し適切な管理と準備を学ぶ
4	手術関連業務②	縫合糸の種類と特性、用途目的を理解する。また、適切な滅菌作業と管理運用を学ぶ
5	術前術後の看護①	気管挿管、血管確保の目的を理解し、準備と補助の手技を学ぶ
6	術前術後の看護②	術前・中・後の輸液の目的を理解し、準備と接続、輸液管理の手技を学ぶ
7	術前術後の看護③	術野の毛刈りと消毒の手技を学ぶ
8	術前術後の看護④	手洗いおよび術着、手袋の着用の手技を学ぶ
9	術前術後の看護⑤	術前術後看護①～④までの復習 術野の毛刈り・消毒、手洗いおよび術着・手袋の着用の手技を実践する
10	術前術後の看護⑥	術創の保護を学び、術後のバイタルチェックの報告と記録、状況に応じた動物管理を学ぶ
11	麻酔モニタリング①	麻酔器の仕組みを理解し適切に接続できる手技を身に付ける

回	テーマ	内 容		
12	麻酔モニタリング②	モニター機器の仕組みを理解し適切な装着接続を学ぶ モニター数値の正常値・異常値を把握し理解する		
13	麻酔モニタリング③	術中のバイタルチェックの監視報告と状況に応じた動物管理を学ぶ		
14	麻酔モニタリング④	麻酔機器を獣医師の指示の基づき操作してみる		
15	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習 I	動物看護総合学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		安藤 雄治

授業の概要

診療現場で必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。採取した検体を用いた検査では、尿検査・糞便検査および血液検査・眼科検査・耳の検査・皮膚科検査・その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。また、生体検査では、基礎的身体一般検査・X線検査・心電図検査と血圧測定・超音波検査・内視鏡検査・神経学的検査・CT・MRIなどの特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無	実務経験内容
--------	--------

有

動物看護師として10年以上動物病院に勤務

時間外に必要な学修

わからなかった部分は自分で調べる

回	テーマ	内容
1	臨床検査概論	臨床検査の意義を理解し、基本的手技を身につける。また、看護実践能力を身につける。
2	検体処理概論	検体の適切な取り扱いを身につける
3	検体処理① 血液採取法・保存法	血液採取法と各成分に応じた保存法について理解できる
4	検体処理 尿の採取・保存法	尿の採取法と保存法を理解できる
5	検体処理 採便法・保存法	採便法と保存法を理解できる
6	顕微鏡	適切な顕微鏡の操作法および取り扱いを身につける
7	顕微鏡 2	正しい操作と基本的なメンテナンス法が理解できる
8	血液検査	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
9	血液検査 2	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
10	血液検査 3	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
11	血液検査 4	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
12	尿検査	尿検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
13	尿検査 2	尿検査の意義を理解し、適切な手技を身につける

回	テ ー マ	内 容		
14	糞便検査	糞便検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
15	糞便検査 2	糞便検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習 I	動物看護総合学科/2年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		須崎, 久保
授業の概要			
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する			
授業終了時の到達目標			
授業概要に記載			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内に動物病院を開院し、院長として勤務。これまでの臨床経験や場면을教材とし指導する		
時間外に必要な学修			
わからなかった部分を自分で調べる			
回	テーマ	内容	
1~3	外傷・創傷管理	外傷および創傷管理について学ぶ	
4	術前準備①	<ul style="list-style-type: none"> 術前準備および術前検査について学ぶ 無菌的処置の重要性について学ぶ 	
5	術前準備②	<ul style="list-style-type: none"> リネン類について学ぶ 手術器具の種類、準備の仕方を学ぶ 	
6~7	術前準備③	<ul style="list-style-type: none"> 手術台の準備と動物の適切なポジショニングを学ぶ 術野の消毒について学ぶ 手洗い、手術着、手袋の着用法について学ぶ 	
8	麻酔管理①	麻酔処置時における動物看護師の役割について学ぶ	
9	麻酔管理②	麻酔リスクの評価 (ASA分類) について学ぶ	
10	麻酔管理③	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔前投与について学ぶ 注射麻酔について学ぶ 	
11	麻酔管理④	<ul style="list-style-type: none"> 吸入麻酔について学ぶ 麻酔導入時、覚醒時のリスクと対処法について学ぶ 	
12~13	麻酔管理⑤	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔看視項目の監視方法、目的について学ぶ 麻酔記録の作成法を学ぶ 	
14	まとめ	これまでのまとめを行う	
15	期末試験	期末試験の実施	
教科書・教材		評価基準	評価率
<ul style="list-style-type: none"> 動物看護実習テキスト (インターズー) 周術期の動物看護パーフェクトナビ (インターズー) 動物看護師のための麻酔超入門 (インターズー) 		期末試験 出席率	80.0% 20.0%
			その他

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習 I	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		山村 恭子
授業の概要			
・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト (Word) の操作と文書作成能力を養う			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ Word文書処理技能認定試験3級 (サーティファイ) 合格 ・ Wordを用いて簡単なビジネス文書を作成することができる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	【実務経験】 山村 恭子 ・ 企業研修・国立大学・私立大学・専門学校・職業訓練校などでoffice全般指導 ・ 建築会社において営業事務兼CADオペレーターとして勤務 (社内でofficeを使用している表計算・社内・社外文書の作成・プレゼン資料の作成など)		
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス文書を見る機会にその構成を気にして確認する。 ・ 学校のパソコンを利用してタイピングの練習を行う。 			
回	テーマ	内容	
1	・ 授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作	※授業の目的と、評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作 (アプリ操作、エクスプローラ) について理解する	
	・ 授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作 1. Wordの基本 2. 文字の入力と編集の基本操作	Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了 日本語入力システム、文字の入力と変換、文書の保存 Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Wordの起動・終了	
2	2. 文字の入力と編集の基本操作	文書の呼び出し、文字列のコピーと移動	
	3. 文書の編集 4. 文書の印刷	ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法	
3	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題1と問題2部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する	
4	3. 文書の編集	罫線と網かけ	
	5. 文書の作成	段落番号、箇条書き、インデント、タブ設定	
	6. 表を使った文書の作成	表の作成、表の編集、表の装飾	
5	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題3と問題4 (図形や画像抜いた) 部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する	

回	テーマ	内容		
6	7. 図形や画像を使った文書の作成	図形の作成、図形の編集、画像の挿入、横書きテキストボックスの挿入、ワードアートの挿入 ヘッダーやフッターへの図形や画像、ワードアートの挿入		
7	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題4(図形と画像部分)と問題5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
8	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級サンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Wordクイックマスター2016基本編(ウィネット) 2016対応Word文書処理技能認定試験3級問題集(サーティファイ)		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学	動物看護総合学科/2年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 真紀
授業の概要			
講義 犬の毛や手入れの基礎を知り 犬の管理を学ぶ			
授業終了時の到達目標			
2年次トリマー3級合格のため お客様の犬の手入れができるようにする			
実務経験有無		実務経験内容	
有		トリマー、ブリーダー歴20年以上の経験から犬の管理でよく困ったことなどをもとに 学生のロールモデルとなること	
時間外に必要な学修			
グルーミング実習に反映させること			
回	テーマ	内容	
1	なぜ美容が必要か	犬に対して何が必要かを説明する。	
2	クリップ名称の説明	トリミングの形や基本的な用語の説明	
3	犬の皮膚の構造	犬の皮膚がどうなっているのかを説明する	
4	犬の被毛について説明	犬の被毛がどうなっているのか 犬種によって	
5	シャンプーについて	シャンプーの種類の説明	
6	シャンプーについて2	どのような犬にどのタイプのシャンプーを選んだらよいかの 説明	
7	ドライヤーについて	ドライヤーの使用方法和目的	
8	バリカンについて	バリカンの種類から使用方法の説明	
9	プードルのバリカンに入れ方	プードルのバリカンの入れ方といれる意味の説明	
10	小テスト	期末試験の準備	
11	プードルのトリミングの基礎をしる	トリミングの基礎としてプードルの種類とペットクリップの形をしる	
12	プードルのスタンダードの絵描き	プードルの理想に近い絵がかけられるようになる。	
13	ケネル&ラムのトリミングの説明	トリミングの説明	
14	ケネル&ラムのトリミング説明		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ドッググルーミングマニュアル	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	実習の前に授業内容を常に確認すること

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC II	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		森, 三村, 野崎, 糸瀬
授業の概要			
グルーミング作業の効率・スピードUPを目指す 部分カットに必要な、トリミングの基礎を身に付ける			
授業終了時の到達目標			
全国動物専門学校協会サロントリマー3級試験合格 部分カットができるようになる 犬に負担をかけないような、丁寧な扱いができるようになる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	【実務経験】 吉本真紀 トリマー 森 純子 トリマー 三村梨恵 トリマー 野崎真優 トリマー 糸瀬春奈 トリマー 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる		
時間外に必要な学修			
犬を観察しトリミングの完成形のイメージをつくっておく			
回	テーマ	内容	
1~15	基礎 部分的な、簡易カットの取得	お尻・顔等の部分的なカットとバリカンを使用した簡易的なカットの習得	
教科書・教材		評価基準	評価率
最新ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%
			【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅳ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		藤原 あかね
授業の概要			
犬の集中力・正確さをやしなう			
授業終了時の到達目標			
脚側歩行訓練ができるようになる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	【実務経験】 トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修			
より多くのことができるように日々の練習を繰り返す			
回	テーマ	内容	
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング	
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥	
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ	
教科書・教材		評価基準	評価率
		実習・実技評価 出席率	50.0% 50.0%
			【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物栄養学 I	動物看護総合学科/2年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合

授業の概要

動物が家族の一員として位置づけられ、人と生活を共にする動物の「食」を取り巻く環境は大きく変わり、病気の動物を治療することが獣医療の目的であるが、むしろ病気の予防や病気にならない環境作り、さらには健康を推進することが動物看護師の大きな役割と言える。本教科では、動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。

授業終了時の到達目標

栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。

実務経験有無	実務経験内容
有	香川県内の動物病院にて8年間勤務

時間外に必要な学修

自分の栄養についても考え、栄養素の必要性を知る

回	テーマ	内容
1	動物栄養学総論	基礎栄養素とイヌネコの必要栄養素の違い、適切な食事管理を理解する
2	基礎栄養学	動物栄養学の中の基本を知る
3	基礎栄養素 水	動物に必要な栄養素の中の水について学ぶ
4	基礎栄養素 タンパク質	動物に必要な栄養素の中のタンパク質について学ぶ
5	基礎栄養素 炭水化物	動物に必要な栄養素の中の炭水化物について学ぶ
6	基礎栄養素 脂肪	動物に必要な栄養素の中の脂肪について学ぶ
7	基礎栄養素 ミネラル	動物に必要な栄養素の中のミネラルについて学ぶ
8	基礎栄養素 ビタミン	動物に必要な栄養素の中のビタミンについて学ぶ
9	イヌとネコの栄養要求の違い	動物栄養学の中で、特に身近な動物の栄養について学ぶ
10	ライフステージ別の栄養管理①	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える
11	ライフステージ別の栄養管理②	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える
12	ライフステージ別の栄養管理③	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える
13	ライフステージ別の栄養管理④	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える

回	テ ー マ	内 容		
14	ライフステージ別の栄養管理⑤	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	臨床栄養指導認定動物看護師試験教本（インターズー）	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物病理学	動物看護総合学科/2年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		田上 真紀

授業の概要

動物看護において、動物がどのような状況にあり、どのような看護が必要かは、発生のメカニズムと病理学的特徴を理解することから始まる。ついでには、生理機能の障害からどのように病気が発生し、どのように変化し、どのように回復していくのかを理解する。さらに、病気の特徴や分類、名称、物理学的検査方法などの病理学専門用語を用いて学ぶ。一般的な正常と異常の違いは、加齢による組織変化や生理機能の違い、動物種による病変の違いなどを理解し、動物看護に活かす。これらのことを理解するために、病気の成り立ち、細胞の死滅、循環障害、退行性病変、進行性病変、炎症、先天異常、免疫異常、老齢性病変、腫瘍などの項目について学ぶ。

授業終了時の到達目標

授業概要に含む

実務経験有無	実務経験内容
有	獣医師として動物病院に勤務

時間外に必要な学修

国家試験予想問題で類題を解き、理解を深める

回	テーマ	内容
1	動物病理学の概要 病気の変遷、成り立ちと変遷	動物病理学を学ぶ意義を理解し、病気の変遷と動物看護学の関連を知る
2	細胞の死	動物病理学における細胞の死を学ぶ
3	循環障害①	動物病理学における循環障害の病態を学ぶ
4	循環障害②	動物病理学における循環障害の病態を学ぶ
5	退行性病変①	動物病理学に関する退行性病変について学ぶ
6	退行性病変②	動物病理学に関する退行性病変について学ぶ
7	進行性病変①	動物病理学における進行性病変について学ぶ
8	進行性病変②	動物病理学における進行性病変について学ぶ
9	炎症①	動物病理学における炎症について学ぶ
10	炎症②	動物病理学における炎症について学ぶ
11	炎症③	動物病理学における炎症について学ぶ
12	先天異常	動物病理学における先天異常について学ぶ
13	免疫異常	動物病理学における免疫異常について学ぶ

回	テ ー マ	内 容		
14	老齡性病変	動物病理学における老齡性病変について学ぶ		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3(動物の疾病と予防および回復) ファームプレス 系統看護学講座(病理学) 医学書院 系統看護学講座(病態生理学) 医学書院		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物外科看護学Ⅱ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (30時間)	必須		須崎, 久保	
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内に動物病院を開院し、院長として勤務。これまでの臨床経験や場面を教材とし指導する		
時間外に必要な学修				
わからない部分は自分で調べる				
回	テーマ	内容		
1~3	術中補助①	代表的な手術器具の名称と使用法を学ぶ		
4~5	術中補助②	代表的な縫合材の分類と使用法について学ぶ		
6	術中補助③	代表的な歯科器具の名称と使用法について学ぶ		
7	術中補助④	術中における直接補助・間接補助の内容について学ぶ		
8~9	術後管理①	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔覚醒後の動物のモニタリングについて学ぶ ・疼痛管理の意義と目的について学ぶ 		
10	術後管理②	<ul style="list-style-type: none"> ・術創管理と包帯法について学ぶ ・退院時の注意点と飼い主への説明の仕方を学ぶ 		
11	救急救命①	エマージェンシーの原因と病態について学ぶ		
12	救急救命②	<ul style="list-style-type: none"> ・一次救命措置 (BLS) について学ぶ ・二次救命措置 (ALS) について学ぶ 		
13	救急救命③	気管挿管と心肺蘇生の方法について学ぶ		
14	まとめ	これまでのまとめを行う		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護実習テキスト (インターズー) ・周術期の動物看護パーフェクトナビ (インターズー) ・動物看護師のための麻酔超入門 (インターズー) 		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅱ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。			
授業終了時の到達目標			
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて8年間勤務		
時間外に必要な学修			
学んだ内容を確認テストにて復習し、次回以降に活かす。			
回	テーマ	内容	
1	消化器の病気 5	腸の疾患 タンパク漏出性腸症、炎症性腸疾患、食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、腸リンパ管拡張症	
2	消化器の病気 5	消化管内異物・腸閉塞・腸重積	
3	消化器の病気 5	胃の疾患 胃拡張胃捻転症候群・幽門狭窄・胃炎	
4	消化器の病気 5	食道の疾患 (右大動脈弓遺残含む)	
5	消化器の病気 5	口腔の疾患 1 歯の形態機能 (復習) 不正咬合、乳歯遺残、口蓋裂・歯周病	
6	消化器の病気 5	ヘルニア (臍・鼠径・会陰・横隔膜)	
7	消化器の病気 5	肝臓疾患 肝炎、肝硬変、肝リピドーシス	
8	消化器の病気 5	門脈体循環シャント、胆嚢粘液嚢腫	
9	消化器の病気 5	膵炎、膵外分泌不全	
10	循環器疾患	循環器系：心臓の構造と働き (復習)	
11	心臓の疾患	僧帽弁閉鎖不全 犬糸状虫症	
12	心臓の疾患	動脈管開存	
13	前期の復習	おさらい	
14	復習テスト	復習テストの実施	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト	期末試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
人と動物の関係学	動物看護総合学科/2年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹
授業の概要			
動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から、その実態、課題などを含めて理解する。			
授業終了時の到達目標			
動物の収集・飼育・利用の歴史について説明できる 動物の飼育と利用の現状について説明できる 動物介在活動と動物介在療法、動物介在教育の定義を説明できる 人間が動物をペットとして飼育するさまざまな理由を説明できる 人が動物を虐待するさまざまな理由を説明できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修			
人と動物との関わり方について意識して観察するようにする			
回	テーマ	内 容	
1	人と動物の関わり①	人と動物の関わり 文学・芸術における動物：日本	
2	人と動物の関わり②	日本と西洋における動物との関わり①の比較	
3	現代の人と動物の関わり①	動物の飼育と利用の現状	
4	現代の人と動物の関わり②	人の生活に貢献する動物の役割	
5	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育①	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義と歴史	
6	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育②	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育を効果的に実施するには	
7	動物介在教育・動物介在療法・動物介在教育③	学校飼育動物の目的や実際、愛玩動物看護師の関わり	
8	人間と動物の関わり①	人はなぜペットを飼うのか 一人が動物をペットとして飼育する理由— ペット飼育の歴史と現状	
9	人間と動物の関わり②	ペットの飼育 一人と動物がともに幸せに暮らすために必要なこと— ペットへの愛着と依存	
10	人間と動物の関わり③	ペットロスの定義と対策	
11	人間の福祉と愛玩動物の関わり①	動物虐待の定義と背景 動物虐待への対処	
12	人間の福祉と愛玩動物の関わり②	動物虐待の現状と法規制 多頭飼育崩壊（アニマル・ホーディング）の定義と背景	

回	テーマ	内 容		
13	人間の福祉と愛玩動物の関わり③	愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵 加齢による飼育困難 Veterinary Social Workと動物看護師		
14	これまでの復習	これまでに学習した内容を復習する		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 (EDUWARD Press)	期末試験	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物形態機能学実習	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
<p>講義で習得した知識の実践と、診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につける。また、手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身に付ける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。</p>			
授業終了時の到達目標			
<p>修得した知識の実践力①～⑤を身に付ける ①全身状態 (BW、脱水、リンパ節の触知) を評価できる ②バイタルサイン (T、P、R、CRT、PFA) を評価できる ③基本的な保定法の違いを知り、処置と個体に合った保定法を実施することができる ④注射器、注射針の無菌的操作の手順を修得し、適切に取り扱うことができる ⑤各注射法に応じた注射器の準備および定められた薬液量の準備ができる</p>			
実務経験有無		実務経験内容	
有		愛玩動物看護師として8年、動物病院に勤務	
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインの評価および保定法を、他の実習時間の隙間時間や休み時間に復習する ・バイタルサインの評価および保定法を、自宅で飼っている動物に行ってみる 			
回	テーマ	内容	
1～2	オリエンテーション①	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、本授業の内容についての説明 ・臨床現場における動物看護のための準備・心構えについて学ぶ ・5F実習室の使用ルールの説明 ・学校犬の接し方、取り扱いについての説明 ・聴診器の配布 	
3～4	身体検査・バイタルサインの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・犬と猫の基本的な扱い方を学ぶ ・身体検査の項目について学ぶ ・バイタルサインの項目について学ぶ ・生体の正常値と異常値を理解する 	
5～6	身体検査・バイタルサインの評価 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体検査およびバイタルサインの評価を学校犬で実践する ・カルテの記入の仕方を学び、自分でカルテの作成を行う 	
7～8	診療補助① (動物の保定)	<ul style="list-style-type: none"> ・保定とは何かを学ぶ ・保定法 (保定法の種類) を学び、学校犬で練習する 	
9	診療補助② (注射器と注射針の取り扱い、注射法の種類)	<ul style="list-style-type: none"> ・注射器と注射針の構造、種類について学ぶ ・各注射法 (種類、目的、方法) を学ぶ ・注射器と注射針の無菌的操作の手順を学び、練習する 	
10～11	診療補助③ (薬剤の準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・注射器と注射針の無菌的操作を復習する ・バイアルからの充填練習をする ・アンプルからの充填練習をする ・保定の練習をする 	
12～13	模擬試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチンの目的と種類を学ぶ ・実技試験に向けての練習を行う (無菌的操作、充填練習) 	
14	期末試験①	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験の実施 ・学校犬の予防接種 (混合ワクチン) の実施 	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験②	・筆記試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護実習テキスト (EDUWARD Press)	期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前学習】①次回授業内容の教科書範囲を予習する ②各回の授業ノートを、授業後に見直しする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物内科看護学実習Ⅳ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		藤原 あかね	
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】 トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
より多くのことができるように日々の練習を繰り返す				
回	テーマ	内容		
1～5	クリッカー集中	集中力アップ		
6～14	基礎の復習 自由科目の練習	脚側行進・停座・伏せ お手・ハイタッチ・バーン・回れなど		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習Ⅱ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		安藤 雄治
授業の概要			
<p>診療現場で必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。採取した検体を用いた検査では、尿検査・糞便検査および血液検査・眼科検査・耳の検査・皮膚科検査・その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。また、生体検査では、基礎的身体一般検査・X線検査・心電図検査と血圧測定・超音波検査・内視鏡検査・神経学的検査・CT・MRIなどの特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。</p>			
授業終了時の到達目標			
授業概要に記載			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物看護師として10年以上動物病院に勤務		
時間外に必要な学修			
わからなかった部分は自分で調べる			
回	テーマ	内 容	
1	眼科検査	診療現場で主に行われる眼科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける	
2	眼科検査2	診療現場で主に行われる眼科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける	
3	耳の検査	診療現場で主に行われる耳の検査の意義を理解し、適切な手技を身につける	
4	耳の検査2	診療現場で主に行われる耳の検査の意義を理解し、適切な手技を身につける	
5	皮膚科検査	診療現場で主に行われる皮膚科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける	
6	皮膚科検査2	診療現場で主に行われる皮膚科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける	
7	内視鏡検査	内視鏡検査の原理と方法、意義を理解できる	
8	内視鏡検査	内視鏡検査の原理と方法、意義を理解できる	
9	神経学的検査	神経学的検査の方法と意義を理解できる	
10	神経学的検査2	神経学的検査の方法と意義を理解できる	
11	CT・MRI検査	コンピュータ断層撮影法(CT)と磁気共鳴画像法(MRI)の原理と手技について理解できる	
12	CTの・MRI検査2	コンピュータ断層撮影法(CT)と磁気共鳴画像法(MRI)の原理と手技について理解できる	

回	テーマ	内 容		
13	血液検査	CBC・生化学検査を基本に診療現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
14	血液検査 2	CBC・生化学検査を基本に診療現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
15	血液検査 3	CBC・生化学検査を基本に診療現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験	100.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物外科看護学実習Ⅱ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		須崎, 久保	
授業の概要				
外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内に動物病院を開院し、院長として勤務。これまでの臨床経験や場면을教材とし指導する		
時間外に必要な学修				
わからない部分は自分で調べる				
回	テーマ	内容		
1~3	術中補助①	代表的な手術器具の名称と使用法を学ぶ		
4~5	術中補助②	代表的な縫合材の分類と使用法について学ぶ		
6	術中補助③	代表的な歯科器具の名称と使用法について学ぶ		
7	術中補助④	術中における直接補助・間接補助の内容について学ぶ		
8~9	術後管理①	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔覚醒後の動物のモニタリングについて学ぶ ・疼痛管理の意義と目的について学ぶ 		
10	術後管理②	<ul style="list-style-type: none"> ・術創管理と包帯法について学ぶ ・退院時の注意点と飼い主への説明の仕方を学ぶ 		
11	救急救命①	エマージェンシーの原因と病態について学ぶ		
12	救急救命②	<ul style="list-style-type: none"> ・一次救命措置 (BLS) について学ぶ ・二次救命措置 (ALS) について学ぶ 		
13	救急救命③	気管挿管と心肺蘇生の方法について学ぶ		
14	まとめ	これまでのまとめを行う		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護実習テキスト (インターズー) ・周術期の動物看護パーフェクトナビ (インターズー) ・動物看護師のための麻酔超入門 (インターズー) 		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物愛護・適正飼養実習 I	動物看護総合学科/2年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		吉本ゆ, 林	
授業の概要				
卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。				
授業終了時の到達目標				
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力（コミュニケーション能力・主体性・協調性等）を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR（医薬情報担当者）への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修				
各自の研究内容の検証				
回	テーマ	内 容		
1	1) 導入	卒業研究の意義（企業が求める人材とは？求められるスキルの習得を目指す） どのようなものを作成するのか テーマの選定		
2	2) テーマの選定	興味のあるテーマを複数選定し、どのような検証方法が考えられるか検討し、その中から現実的なテーマを1つに絞る。		
3	3) 先行研究探索（書籍・論文等	研究テーマに関する先行研究を探索する。		
4~15	4) 検証方法の検討と決定 5) データの収集 6) 結果のまとめと考察→データ不足の場合、	検証方法を確定し、実行し、その結果をまとめ、考察する。また、論文を作成する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	前期終了までにデータの取得を目指す。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物看護総合実習Ⅱ	動物看護総合学科/2年	2026/後期	実習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位(30時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
動物病院へインターン実習に伺うことで、実際の現場で見られる検査や処置、看護や病院のマネジメントなどを体験する。講義や実習で学んだ内容を実践することにより、知識・技術を定着させられる。現場で働かれている獣医師、愛玩動物看護師のリアルな現場を経験することにより、就職後のリアリティショックを軽減させる。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解し、自身が動物病院でどのように加わるかを考える 学校で修得した知識や技術が動物看護業務を実践する上で必須であることを理解する 飼い主対応や処置室等での臨床症例を見学し、可能な範囲で体験学習する中で、円滑な人間関係を築くために必要な技術や能力を修得する 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として22年間、動物病院で勤務			
時間外に必要な学修				
自分に合った動物病院を調べる				
回	テーマ	内容		
1~2	体験型授業	オリエンテーションを行い、希望する病院へのインターン実習に向けて準備を行う		
3~14	体験型実習	インターン実習に臨む		
15	振り返り	実習の振り返り、お礼状の作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物病院実習お守りノート(学窓社)		実習・実技評価	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		山村 恭子
授業の概要			
<p>・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う</p>			
授業終了時の到達目標			
<p>・Excel表計算処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格 ・Excelを用いて簡単な集計表やデータベース、グラフを作成することができる</p>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	<p>【実務経験】山村 恭子 ・企業研修・国立大学・私立大学・専門学校・職業訓練校などでoffice全般指導 ・建築会社において営業事務兼CADオペレーターとして勤務(社内でofficeを使用しての表計算・社内・社外文書の作成・プレゼン資料の作成など)</p>		
時間外に必要な学修			
<p>・日常で目にするグラフなどの構成を気にして確認する。</p>			
回	テーマ	内容	
1	<p>・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作</p> <p>1. Excelの基本 2. データの編集 7. 関数</p>	<p>※授業の目的と評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する</p> <p>Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Excelの起動・終了、Excelの画面構成 データの入力、データの移動とコピー、数式の入力、ブックの保存 統計関数(SUM関数・AVERAGE関数・MAX関数・MIN関数)</p>	
2	<p>2. データの編集 3. 表の編集</p>	<p>絶対参照と相対参照、オートフィル</p> <p>罫線、セルの書式設定、セルの配置、表示形式の設定、列幅や行の高さの調整、行や列の挿入と削除</p> <p>ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法</p>	
3	<p>Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題1と問題2部分の答練 7. 関数 6. ブックの利用と管理</p>	<p>練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する</p> <p>統計関数(COUNT関数・COUNTA関数) 数学/三角関数(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数)</p> <p>ワークシートの管理(シート名の変更)</p>	

回	テ ー マ	内 容
4	7. 関数 6. ブックの利用と管理 5. グラフと図形の作成	統計関数(RANK. EQ関数・RANK. AVG関数) 論理関数(IF関数・OR関数・AND関数) 日付関数(TODAY関数) ワークシートの管理、ウィンドウの操作 グラフの作成、グラフの編集、図形の作成
5	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題4部分の答練 8. データベース機能	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する リストの作成、並べ替え、データの抽出、テーブル機能
6	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題3、5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する
7	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する
8	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
9	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
11	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める
12	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
14	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める

回	テ ー マ	内 容		
15	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級サーティファイHPからダウンロードしたサンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2016クイックマスター基本編(ウィネット) Excel表計算処理技能認定医試験3級問題集(サーティファイ)		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	【授業準備】 テキストを読み予習しておく

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
国家試験対策授業 I	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
愛玩動物看護師国家試験の必須問題と相関が高い動物形態機能学を全範囲網羅することで、近年の難化傾向に対応した国試合格の土台を固める。また、これまでの頻出ポイントも解説することで、国家試験本番で役立つ実践的な知識の定着を図る。			
授業終了時の到達目標			
国試頻出知識の網羅：犬・猫の各器官系における解剖学的名称と生理機能を理解し、国試頻出レベルの重要ワードを正確に説明できる。 構造と機能の紐づけ：身体の「構造」と「機能」を関連付けて捉え、国試問題の選択肢の正誤を論理的に判断できる。 実践的解答力の確立：毎回のGoogleフォームテストを通じて、出題パターンに慣れ、制限時間内に過去問を正確に解くことができる。			
実務経験有無		実務経験内容	
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR（医療情報担当者）への教育訓練業務 7年	
時間外に必要な学修			
①確認テスト前：重要概念の「根拠や理由」を他人に説明できるまで振り返る。 ②確認テスト後：「なぜその正解になるのか」のプロセスを深く理解する。			
回	テーマ	内容	
1・2	血液循環とその調節	循環器系の概要 心臓のしくみ 心筋の性質 心筋の自動性と興奮の伝わり 心臓の周期 心臓機能の調節 血管のしくみと働き 血液循環の調節 細血管を横切る物質の移動 リンパ系のしくみ 脾臓のしくみ	
3~5	脳と神経	脳と神経系の役割 神経系を構成する細胞 静止膜電位と活動電位 興奮諸伝達とシナプス伝達 シナプス 興奮性シナプスと抑制性シナプス 神経伝達物質と受容体 神経回路 神経系 脳の構成要素 脳神経 脊髄と脊髄神経 自律神経 行動の神経調節	
6	生命のすがた	体を形づくる基本物質 細胞のしくみと働き 遺伝情報 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織 器官の成り立ちと維持、調節システム	

回	テ ー マ	内 容		
7	血液と造血器	血球成分と血漿成分 赤血球の構造と機能 白血球の構造と機能 血小板機能と血液凝固機序及び線維素溶解		
8	生体の防御機構	生体を守る防御機構 自然免疫 獲得免疫		
9	呼吸とその調節	呼吸器の構造 呼吸		
10～ 14	消化吸収と栄養代謝	歯の分類と数 舌の形と働き 咽頭と嚥下 食道 胃のしくみと働き 腸のしくみと働き 唾液腺 膵臓 肝臓 炭水化物の消化と吸収 タンパク質の消化と吸収 脂肪の消化と吸収 代謝総論 三大栄養素の分子のしくみ 代謝経路の概要 炭水化物（糖質）の代謝経路 タンパク質の代謝経路 脂質の代謝経路 ビタミン ミネラル		
15	定期テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1 巻（エデュワードプレス） 動物看護コアテキスト第3版1「基礎動物学 I」（ファームプレス）				

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
トレーニング実習Ⅲ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		藤原 あかね	
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう (2年次に履修した内容をさらにレベルアップする)				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	集中力アップ		
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
11~14	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物繁殖学	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		西村 美笛

授業の概要

繁殖は動物が存続する上で欠かせないものであり、雌雄がそれぞれ成長して生殖能力を有し受精により新たな個体（生命）が誕生する神秘的な営みである。本科目では主にイヌやネコの雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。さらに正常な分娩の前兆、生理的変化と異常分娩時における助産について学習する。また、産褥期の母体看護、新生児の管理を理解し、飼い主へのアドバイスに役立てる。ブリーディングにおいて知っておかなければいけない交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める。また、イヌとネコ以外の動物についても繁殖に関して比較して学習する。

授業終了時の到達目標

イヌ、ネコの繁殖について説明ができる
 イヌの交配について説明ができる
 ネコの交配について説明ができる
 イヌ、ネコの生殖器について説明ができる

実務経験有無 実務経験内容

有 動物看護師として動物病院に勤務

時間外に必要な学修

形態機能学や行動学で学んだ繁殖に関わる部分を復習する

回	テーマ	内 容
1	雌の生殖器の構造と機能	雌の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖
2	雄の生殖器の構造と機能	雄の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖
3	性成熟と生殖周期① 生殖活動に関連するホルモン	雌イヌと雌ネコの性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン
4	性成熟と生殖周期② 生殖活動に関連するホルモン	各種動物の性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン
5	雌イヌの繁殖①（排卵と交配）	イヌの排卵、交配時期
6	雌イヌの繁殖②（妊娠、分娩）	イヌの妊娠、分娩
7	雌ネコの繁殖①（排卵と交配）	ネコの排卵、交配時期
8	雌ネコの繁殖②（分娩） 帝王切開	雌ネコの妊娠、分娩
9	出産①	出産の立ち会い方
10	出産③	助産
11	難産、帝王切開	生まれてきた子犬の健康維持について
12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の健康維持について
13	離乳期の飼い方	離乳食の与え方

回	テ ー マ	内 容		
14	まとめ	まとめ		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	基礎動物看護学①動物形態機能学 動物繁殖学（インターズー） 動物看護のための小動物繁殖学（ファームプレス） 獣医繁殖学（文栄堂出版）	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	事前学習 前回の授業の内容を熟読すること

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物栄養学Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合

授業の概要

動物が家族の一員として位置づけられ、人と生活を共にする動物の「食」を取り巻く環境は大きく変わり、病気の動物を治療することが獣医療の目的であるが、むしろ病気の予防や病気にならない環境作り、さらには健康を推進することが動物看護師の大きな役割と言える。本教科では、動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。

授業終了時の到達目標

栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として8年、動物病院に勤務

時間外に必要な学修

国家試験予想問題の中の類題問題を解き、確実に理解する

回	テーマ	内容
1	動物栄養学総論	基礎栄養素とイヌネコの必要栄養素の違い、適切な食事管理を理解する
2	基礎栄養学	動物栄養学の中の基本を知る
3	基礎栄養素 水	動物に必要な栄養素の中の水について学ぶ
4	基礎栄養素 タンパク質	動物に必要な栄養素の中のタンパク質について学ぶ
5	基礎栄養素 炭水化物	動物に必要な栄養素の中の炭水化物について学ぶ
6	基礎栄養素 脂肪	動物に必要な栄養素の中の脂肪について学ぶ
7	基礎栄養素 ミネラル	動物に必要な栄養素の中のミネラルについて学ぶ
8	基礎栄養素 ビタミン	動物に必要な栄養素の中のビタミンについて学ぶ
9	イヌとネコの栄養要求の違い	動物栄養学の中で、特に身近な動物の栄養について学ぶ
10	ライフステージ別の栄養管理①	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える
11	ライフステージ別の栄養管理②	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える
12	ライフステージ別の栄養管理③	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える
13	ライフステージ別の栄養管理④	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える

回	テ ー マ	内 容		
14	ライフステージ別の栄養管理⑤	動物にとって適切な栄養をライフステージ別で考える		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	臨床栄養指導認定動物看護師試験教本（インターズー）	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
比較動物学 I	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹

授業の概要

飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。

授業終了時の到達目標

・愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物などの飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的な位置づけおよび特徴について理解する。

実務経験有無 実務経験内容

有	香川県の動物病院で2年間動物看護師として勤務
---	------------------------

時間外に必要な学修

産業動物や実験動物、展示動物と愛玩動物との違いをひとつひとつ覚えていく

回	テーマ	内容
1	産業動物 牛①	歴史～解剖生理
2	産業動物 牛②	解剖生理～牛に多い疾病
3	産業動物 馬①	歴史～解剖生理
4	産業動物 馬②	解剖生理～馬に多い疾病
5	産業動物 豚①	歴史～解剖生理
6	産業動物 豚②	解剖生理～豚に多い疾病
7	産業動物 羊①	歴史、品種ごとの特性、解剖生理
8	産業動物 羊②	飼養管理、羊に多い疾病
9	産業動物 山羊①	歴史、品種・特性
10	産業動物 山羊②	生理、飼養管理、山羊に多い疾病
11	産業動物 鶏①	歴史～解剖生理
12	産業動物 鶏②	解剖生理～鶏に多い疾病
13	畜産業①	畜産業とは、日本の畜産
14	畜産業②	畜産業の地域による特徴、畜産業の生産費の構成割合

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	比較動物学 I で学んだ内容を試験する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻（エデュワードプレス） ・授業データ	期末試験 小テスト	80.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物薬理学 I	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子	
授業の概要				
薬の基礎知識、薬理学の基礎を理解する。 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物看護師は動物病院等での薬に関する業務を滞りなく遂行できる知識を修得する。 ・薬の適切な保管管理を理解し、説明することができる。 ・投薬に際し、薬の適切な取り扱いを理解し、説明することができる。 ・獣医師の処方方を的確に理解し、説明することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR (医薬情報担当者) への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修				
各項目についての復習 各章ごとに実施される、課題の提出または確認テストのための学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	愛玩動物看護師による薬物の取扱い	1) 薬理学概論 2) 医薬品の基準と分類 3) 医薬品の開発		
3~ 5	動物薬理学の基礎	1) 薬と薬理作用 2) 薬理作用の発現機構 3) 薬の剤形と投与方法 4) 生体内での薬の動態 (吸収、分布、代謝、排泄) 5) 薬効に影響を与える因子 6) 薬の有害作用		
6~ 8	神経系に作用する薬	1) 神経系の基本事項 2) 全身麻酔薬 3) 局所麻酔薬 4) 鎮痛薬 5) 骨格筋弛緩薬 6) 鎮静薬・抗痙攣薬 7) 問題行動の治療薬		
9~ 12	循環器・泌尿器に作用する薬	1) 血管拡張薬 (降圧薬) 2) 心不全治療薬 3) 抗不整脈薬 4) 利尿薬 5) 抗利尿薬		
13~ 14	呼吸器系に作用する薬	1) 呼吸興奮薬 2) 鎮咳薬 3) 抗喘息薬 (気管支拡張薬)		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師の教科書3 (緑書房)		確認テスト 期末試験	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学 I	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹
授業の概要			
<p>公衆衛生とは人々の健康を守るための科学であり、技術である。そのため、この科目を学習することで、国家資格化た愛玩動物看護師として社会に貢献するための方法を学ぶことができる。獣医師の役割である「公衆衛生の向上」を愛玩動物看護師としてサポートできるように学習する。</p>			
授業終了時の到達目標			
<p>公衆衛生とは何かを説明できるようになる。 疫学とは何かを説明できるようになる。 人獣共通感染症を知り、その対処方法を実践できるようになる。</p>			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて2年間勤務		
時間外に必要な学修			
多くの新しい用語が出てきます。解説のなかったものはその都度意味を調べて覚えていきましょう。			
回	テーマ	内容	
1	動物看護師と公衆衛生	授業概要説明 公衆衛生の目的 他	
2	疫学と疾病予防①	疫学とは 他	
3	疫学と疾病予防②	感染と流行 他	
4	疫学と疾病予防③	スクリーニングとサーベイランス 他	
5	復習① ウイルス学総論	ここまでの学習の振り返り ウイルスの分類 他	
6	人獣共通感染症 ～ウイルス編①～	ラッサ熱 他	
7	人獣共通感染症 ～ウイルス編②～	Bウイルス感染症 他	
8	人獣共通感染症 ～ウイルス編③～	蚊によって媒介されるウイルス性感染症	
9	人獣共通感染症 ～ウイルス編④～	マダニによって媒介されるウイルス性感染症 他	
10	人獣共通感染症 ～ウイルス編⑤～	インフルエンザ 他	
11	人獣共通感染症 ～ウイルス編復習～	ウイルス性人獣共通感染症について復習する	
12	人獣共通感染症 ～細菌編①～	細菌について ペスト 他	
13	人獣共通感染症 ～細菌編②～	炭疽 他	
14	人獣共通感染症 ～細菌編③～	細菌性赤痢 他	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	公衆衛生学 I についての期末試験を行う		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5 巻（エデュワードプレス） 授業データ	期末試験 小テスト	80.0% 20.0%	動物感染症学に関 連する内容が多々 あります。見直し をしておいてくだ さい。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本ゆ, 林
授業の概要			
卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。			
授業終了時の到達目標			
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力（コミュニケーション能力・主体性・協調性等）を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR（医薬情報担当者）への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修			
各自の研究内容の検証			
回	テーマ	内 容	
1	1) 導入	卒業研究の意義（企業が求める人材とは？求められるスキルの習得を目指す） どのようなものを作成するのか テーマの選定	
2	2) テーマの選定	興味のあるテーマを複数選定し、どのような検証方法が考えられるか検討し、その中から現実的なテーマを1つに絞る。	
3	3) 先行研究探索（書籍・論文等	研究テーマに関する先行研究を探索する。	
4~ 15	4) 検証方法の検討と決定 5) データの収集 6) 結果のまとめと考察→データ不足の場合、	検証方法を確定し、実行し、その結果をまとめ、考察する。また、論文を作成する。	
教科書・教材		評価基準	評価率
なし		課題・レポート	100.0%
			その他 前期終了までにデータの取得を目指す。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅲ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合

授業の概要

さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。

授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無

有

香川県内の動物病院にて8年間勤務

時間外に必要な学修

①事前課題：各臓器の構造や働きを思い出す（配布プリントあり）②授業後課題：学んだ内容を確認テストにて復習する

回	テーマ	内容
1	代表的な消化器疾患 1	1) 消化器の復習 2) 消化器疾患の代表的な徴候
2	代表的な消化器疾患 2	3) 猫の歯肉口内炎 4) 歯周病
3	代表的な消化器疾患 3	5) 不正咬合 6) 乳歯遺残 7) 口蓋裂
4	代表的な消化器疾患 4	8) 食道狭窄 9) 巨大食道症
5	代表的な消化器疾患 5	9) 胃炎 10) 幽門狭窄 11) 胃拡張胃捻転症候群
6	代表的な消化器疾患 6	12) パルボウイルス感染症 13) 慢性腸症 14) 腸リンパ管拡張症
7	代表的な消化器疾患 7	15) 腸閉塞 16) 肝炎 17) 門脈体循環シャント
8	代表的な消化器疾患 8	18) 胆のう粘液嚢腫 19) 膵炎 20) 膵外分泌不全症
9	確認テスト	消化器疾患のまとめ
10	代表的な内分泌疾患 1	1) 内分泌の復習 2) 糖尿病 3) 低血糖症
11	代表的な内分泌疾患 2	4) 甲状腺機能亢進症 5) 甲状腺機能低下症
12	代表的な内分泌疾患 3	6) 副腎皮質機能亢進症 7) 副腎皮質機能低下症
13	代表的な内分泌疾患 4	8) 上皮小体機能亢進症 9) 上皮小体機能低下症 10) 尿崩症
14	確認テスト	内分泌疾患のまとめ

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	エドゥワードプレス出版) 愛玩動物看護師 カリキュラム準拠教科書第9巻および第1 巻	期末試験 確認テスト 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	授業の進捗状況に より、授業予定内 容の変更あり

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物生活環境学	動物看護総合学科/3年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹
授業の概要			
動物の行動様式を理解したうえで、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設および動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法について理解する。 ・様々な環境の整備・管理方法について理解する。 ・飼育マナーの必要性や目的について理解する。 			
実務経験有無		実務経験内容	
有		香川県内の動物病院で動物看護師として2年勤務	
時間外に必要な学修			
普段から動物の生活環境を見た時にその状態を判断し、より良くなる方法を考えるようにする。			
回	テーマ	内容	
1	飼養環境整備①	ペット共生住宅の歴史と現状	
2	飼養環境整備②	飼養環境整備の意義と多岐にわたる効用	
3	飼養環境整備③	犬の飼養環境整備	
4	飼養環境整備④	ドッグランの環境整備と管理 など	
5	飼養環境整備⑤	猫の飼養環境整備	
6	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン①	ペットツーリズムの現状と実施方法	
7	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン②	ペット同伴宿泊施設の環境整備と管理 ドッグランの環境整備と管理	
8	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン③	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興	
9	保護収容施設①	動物愛護管理センター等の役割	
10	保護収容施設②	動物収容保護施設での飼養管理 災害時のシェルターの役割	
11	ペットへの教育・訓練施設	ペット飼育に関する課題 ペット飼育の課題と教育の関係性 飼い主教育における愛玩動物看護師の役割 パピークラスにおける教育内容 教育施設の種類	
12	動物介在教育施設	目的と効果 法的背景 飼育実態 学校飼育動物等の施設の環境整備・管理	

回	テ ー マ	内 容		
13	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応①	飼育マナーの必要性や目的 飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違い		
14	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応②	地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種条例 愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナー ペット保険の概要		
15	期末試験	学習した内容による期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 ・授業毎の配布プリント 		期末試験	100.0%	動物の生活環境をよくするための方法について考える機会にしてください。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物臨床看護実習 I	動物看護総合学科/3年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
講義で取得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を取得する				
授業終了時の到達目標				
今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な技術を習得する 受付での対応が一般的な接客業とは異なることを理解し、専門的視点で判断し対応できるようになる さまざまな診療の補助に必要な手技を習得する ウサギやハムスターの扱いについて理解する				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物病院で動物看護師経験22年			
時間外に必要な学修				
事前学習として教科書のみておく 習ったところは配布資料・教科書で復習				
回	テーマ	内容		
1	授業ガイダンス	動物看護のための準備・心構え		
2	フィラリア検査	フィラリア検査		
3	保定の基礎	保定の基礎知識、保定の種類、保定に使用する道具		
4	バイタルチェック	バイタルチェックの目的と方法		
5	日常の健康管理	日常の健康管理		
6	全身検査①	全身検査について学ぶ		
7	全身検査②	被毛・皮膚・骨格・感覚器など全身を検査する		
8	病気の予防について RVについて	犬猫に必要な予防		
9~10	注射器の取り扱い方	注射器・注射針の種類、薬液保存容器など		
11	入院管理①	入院管理 (グループワーク)		
12	入院管理②	入院管理 (GW)		
13	応急処置	応急処置		
14	投薬	錠剤、粉薬、目薬など投薬方法		
15	期末試験	実技試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
	動物看護実習テキスト第3版 (Edward Press)	実習・実技評価 課題・レポート	70.0% 30.0%

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習Ⅲ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		吉本ゆ, 林
授業の概要			
<p>卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。</p>			
授業終了時の到達目標			
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力(コミュニケーション能力・主体性・協調性等)を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修			
各自の研究内容の検証			
回	テーマ	内容	
1	1) 導入	卒業研究の意義(企業が求める人材とは?求められるスキルの習得を目指す) どのようなものを作成するのか テーマの選定	
2	2) テーマの選定	興味のあるテーマを複数選定し、どのような検証方法が考えられるか検討し、その中から現実的なテーマを1つに絞る。	
3	3) 先行研究探索(書籍・論文等)	研究テーマに関する先行研究を探索する。	
4~15	4) 検証方法の検討と決定 5) データの収集 6) 結果のまとめと考察→データ不足の場合、	検証方法を確定し、実行し、その結果をまとめ、考察する。また、論文を作成する。	
教科書・教材		評価基準	評価率
なし		課題・レポート	100.0%
			その他 前期終了までにデータの取得を目指す。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ	動物看護総合学科/3年	2026/前期	実習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 動物病院の概要（地域特性、診療方針、スタッフの構成等）を理解し、チームで行う愛玩動物に対する医療を体験する 総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を修得する 動物看護師としての役割や責任について、認識を深める 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR（医療情報担当者）への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修			
自分に合った動物病院を探す			
回	テーマ	内容	
1～5	実務型実習	オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する	
6～10	実務型実習	指導者の助言を受けながら、動物病院における獣医師との連携の中で看護計画の展開を修得し、動物看護実務を遂行できる能力を養う	
11～15	実務型実習	動物看護に関する多くの項目についての技術を、可能な限り体験し学習する	
16～20	実務型実習	動物病院内における、動物看護師の役割やチームで行う愛玩動物に対する医療の機能、行動、責務について考えることができる	
21～25	実務型実習	動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める	
26～30	実務型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす	
教科書・教材		評価基準	評価率
		実習・実技評価	100.0%
			その他 ・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する 【衛生・健康管理】（優）8点（良）7点（可）6点（不可）5点 【接遇マナー、勤務状態】（優）6点（良）5点（可）4点（不可）3点 ・合計で100点満点とする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
AAA実習 I	動物看護総合学科/3年	2026/前期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
0単位 (20時間)	必須		齋藤 小百合	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる ・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として8年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、動物を介しての人との関わり方を指導する			
時間外に必要な学修				
担当犬の手入れ				
回	テーマ	内容		
1~ 2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~ 15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
国家試験対策授業Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
愛玩動物看護師国家試験の必須問題と相関が高い動物形態機能学を全範囲網羅することで、近年の難化傾向に対応した国試合格の土台を固める。また、これまでの頻出ポイントも解説することで、国家試験本番で役立つ実践的な知識の定着を図る。			
授業終了時の到達目標			
国試頻出知識の網羅：犬・猫の各器官系における解剖学的名称と生理機能を理解し、国試頻出レベルの重要ワードを正確に説明できる。 構造と機能の紐づけ：身体の「構造」と「機能」を関連付けて捉え、国試問題の選択肢の正誤を論理的に判断できる。 実践的解答力の確立：毎回のGoogleフォームテストを通じて、出題パターンに慣れ、制限時間内に過去問を正確に解くことができる。			
実務経験有無		実務経験内容	
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR（医療情報担当者）への教育訓練業務 7年	
時間外に必要な学修			
①確認テスト前：重要概念の「根拠や理由」を他人に説明できるまで振り返る。 ②確認テスト後：「なぜその正解になるのか」のプロセスを深く理解する。			
回	テーマ	内容	
1~3	からだの支持と運動	1. 体の位置・方向を示す用語と表面解剖学的区分 2. 骨格 3. 骨格筋	
4~6	外皮系と体温調節	1. 外皮 2. 皮膚の付属器官 3. 皮膚による体温調節	
7~8	血液と造血器	1. 血球成分と血漿成分 2. 赤血球の構造と機能 3. 白血球の構造と機能 4. 血小板機能と血液凝固機序及び線維素溶解	
9~10	内分泌とホルモン	1. 内分泌とは一外分泌や傍分泌の違い 2. ペプチドホルモン、ステロイドホルモンおよびアミン型ホルモンとは 3. 内分泌系の基本構造と機能 4. 視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、ランゲルハンス島、消化管ホルモンの機能	
11~12	生体の防御機構	1. 生体を守る防御機構 2. 自然免疫 3. 獲得免疫	
13~14	尿の生成と体液調節	1. 腎臓 2. 尿路 3. 体液 4. 電解質バランス 5. 酸・塩基平衡	
15	期末試験	期末試験	
教科書・教材		評価基準	評価率
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻（エデュワードプレス）			その他

回	テーマ	内 容		
動物	看護コアテキスト第3版1「基礎動物学I」(ファームプレス)			

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
トレーニング実習Ⅳ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (30時間)	必須		藤原 あかね	
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして10年以上の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	集中力アップ		
6~14	基礎の復習 自由科目の練習	脚側行進・停座・伏せ お手・ハイタッチ・バーン・回れなど		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
比較動物学Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹

授業の概要

飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。

授業終了時の到達目標

実験動物

- ・ 動物実験の目的、意義について理解する
- ・ 代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法について理解する
- ・ 遺伝学的制御、微生物学的制御、環境制御について理解する
- ・ 疾患モデル動物について理解する

野生動物

- ・ 野生動物の分類と生物多様性について理解する
- ・ 鳥獣害の現状と保全の意義について理解する
- ・ 絶滅危惧種の定義と含まれる動物、原因、保全方法について理解する
- ・ 外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響、対策について理解する

展示動物

- ・ 展示動物の意義と動物園などの役割について理解する
- ・ 動物園などにおける個体・群管理、行動管理について理解する
- ・ 動物園などの施設管理について理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	香川県内の動物病院にて動物看護師として2年間勤務

時間外に必要な学修

身近に存在する動物たちに関心を持ち、その特徴などを気にするようにする

回	テーマ	内容
1	実験動物学総論①	比較動物学Ⅰの復習 動物実験の目的と配慮 実験動物とは
2	実験動物学総論②	実験動物の歴史 実験動物関連法規の誕生と発展 動物看護師と動物実験
3	実験動物の管理学①	生体因子の管理学 遺伝的モニタリングの管理学 住居環境因子の管理学
4	実験動物の管理学②	物理化学的因子の管理学 栄養学的管理学 微生物学的管理学 (生物学的管理学)
5	実験動物の管理学③	動物実験の基本技術 動物飼育管理上の注意点
6	代表的な実験動物の特性と飼育管理①	マウス ラット
7	代表的な実験動物の特性と飼育管理②	シリアン (ゴールデン) ハムスター チャイニーズハムスター スナネズミ

回	テーマ	内 容		
8	代表的な実験動物の特性と飼育管理 ③	モルモット ウサギ サル類 その他の動物		
9	疾患モデル動物	自然発症疾患モデル動物 トランスジェニック動物 代表的な実験的疾患モデル動物 研究資源バンク		
10	動物実験の代替法	代替法とその活用 代替法開発の背景と現在の課題		
11	野生動物①	野生動物の分類と生物多様性 鳥獣害の現状と管理の意義		
12	野生動物②	絶滅危惧種の定義に含まれる動物、原因、保全方法やその 意義 外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響、対策 野生動物の救護		
13	野生動物③	野生動物救護の対象と内訳 野生動物の病気と事故 野生動物の救護体制		
14	展示動物	展示動物の意義と動物園などの役割 動物園などにおける個体、群管理、行動管理 動物園などの施設管理		
15	期末試験	学習した内容を試験する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠 教科書6巻（EDUWARD Press） 参考書：動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス） 教 材：授業毎の配布プリント		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本 由紀子
授業の概要			
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。			
授業終了時の到達目標			
愛玩動物看護師は動物病院等での薬に関する業務を滞りなく遂行できる知識を修得する。 ・投薬に際し、薬の適切な取り扱いを理解し、説明することができる。 ・獣医師の処方方を的確に理解し、説明することができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR (医薬情報担当者) への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修			
各項目についての復習 各章ごとに実施される、課題の提出または確認テストのための学修			
回	テーマ	内 容	
1～3	消化器に作用する薬	1) 制吐薬と催吐薬 2) 抗潰瘍薬 3) 消化管運動促進 (調整) 薬および抑制薬 (鎮痙薬) 4) 止瀉 (制瀉) 薬 5) 瀉下薬 (緩下薬、下剤) 6) 肝・脾疾患の治療薬	
4～7	オータコイド、内分泌・代謝系の薬	1) オータコイド 2) 抗炎症薬 3) 糖尿病治療薬 4) 甲状腺機能障害の治療薬 5) 脂質代謝異常の治療薬 6) 骨代謝異常の治療薬	
8～9	血液に作用する薬	1) 貧血の発生機序と抗貧血薬 2) 血液凝固阻害薬 3) 血液凝固促進薬 (止血薬)	
10	免疫系に作用する薬	1) 免疫に影響を与える薬 2) ワクチン	
11～14	化学療法薬	1) 抗腫瘍薬 2) 抗菌薬・抗真菌薬 3) 駆虫薬・抗原虫薬 4) 殺虫薬 5) 消毒薬	
15	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 (エデュワードプレス) 愛玩動物看護師の教科書3 (緑書房)		期末試験	100.0%
			その他

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹
授業の概要			
公衆衛生とは人々の健康を守るための科学であり、技術である。そのため、この科目を学習することで、国家資格である愛玩動物看護師として社会に貢献するための方法を学ぶことができる。獣医師の役割である「公衆衛生の向上」を動物看護師としてサポートできるように学習する。			
授業終了時の到達目標			
公衆衛生とは何かを説明できるようになる。 疫学とは何かを説明できるようになる。 人獣共通感染症を知り、その対処方法を実践できるようになる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県内の動物病院にて2年間勤務		
時間外に必要な学修			
多くの新しい用語が出てきます。解説のなかったものはその都度意味を調べて覚えていきましょう。			
回	テーマ	内容	
1	公衆衛生学Ⅰ復習	公衆衛生学Ⅰで学習した内容と国家試験	
2	人獣共通感染症 ～細菌編③～	破傷風 など	
3	人獣共通感染症 ～細菌編④～	カンピロバクター症 など	
4	人獣共通感染症 ～細菌編⑤～	野兔病 など	
5	人獣共通感染症 ～真菌編～	真菌とは 皮膚糸状菌症 など	
6	人獣共通感染症 ～原虫編～	原虫とは トリパノソーマ症 など	
7	人獣共通感染症 ～寄生虫編①～	内部寄生虫による人獣共通感染症	
8	人獣共通感染症 ～寄生虫編②～	外部寄生虫による人獣共通感染症	
9	人獣共通感染症の復習	人獣共通感染症について学習したことを復習する	
10	狂犬病予防の重要性	狂犬病予防について学習する	
11	食品衛生①	食品衛生法 など	
12	食品衛生②	食品とアレルギー	
13	食品衛生③	食品の保存方法 など	
14	環境衛生	水の衛生 など	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	公衆衛生学Ⅱで学んだ内容について試験する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻 (EDUWARD Press) ・各回の配布プリント 	期末試験 出席率	80% 20%	動物感染症学に関連する内容が多々あります。見直しをしておいてください。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅲ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		吉本ゆ, 林
授業の概要			
<p>卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。</p>			
授業終了時の到達目標			
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力（コミュニケーション能力・主体性・協調性等）を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR（医薬情報担当者）への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修			
各自の研究内容の検証			
回	テーマ	内容	
1~14	1) 論文の作製 2) 教員による論文チェック・論文完成 3) 発表資料作成 (PowerPoint、Googleスライド等) 4) 発表練習	論文を作成し、完成させる。 発表用の資料を作成する	
15	発表	研究内容を分かりやすい形で発表資料を作成し、校内で発表する。	
教科書・教材		評価基準	評価率
なし		課題・レポート	100.0%
			その他 発表も行うが、評価は提出された論文で行う。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅳ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。			
授業終了時の到達目標			
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物看護師として動物病院に8年勤務		
時間外に必要な学修			
①事前課題：各臓器の構造や働きを思い出す（配布プリントあり）②授業後課題：学んだ内容を確認テストにて復習する			
回	テーマ	内容	
1	消化器の病気 5	腸の疾患 タンパク漏出性腸症、炎症性腸疾患、食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、腸リンパ管拡張症	
2	消化器の病気 5	消化管内異物・腸閉塞・腸重積	
3	消化器の病気 5	胃の疾患 胃拡張胃捻転症候群・幽門狭窄・胃炎	
4	消化器の病気 5	食道の疾患（右大動脈弓遺残含む）	
5	消化器の病気 5	口腔の疾患 1 歯の形態機能（復習） 不正咬合、乳歯遺残、口蓋裂・歯周病	
6	消化器の病気 5	ヘルニア（臍・鼠径・会陰・横隔膜）	
7	消化器の病気 5	肝臓疾患 肝炎、肝硬変、肝リピドーシス	
8	消化器の病気 5	門脈体循環シャント、胆嚢粘液嚢腫	
9	消化器の病気 5	膵炎、膵外分泌不全	
10	循環器疾患	循環器系：心臓の構造と働き（復習）	
11	心臓の疾患	僧帽弁閉鎖不全 犬糸状虫症	
12	心臓の疾患	動脈管開存	
13	前期の復習	おさらい	
14	復習テスト	復習テストの実施	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト	期末試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
動物医療コミュニケーション	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (30時間)	必須		長尾 美花	
授業の概要				
日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
基礎的なクライアントエデュケーション、事前問診、容態説明、などを理解し実施できるようになる。その際に必要となるコミュニケーション力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院にて、動物看護師として22年間勤務		
時間外に必要な学修				
習ったところは配布資料で復習・事前学習として教科書で予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~4	クライアントエデュケーション	クライアントエデュケーション概論		
5~6	院内コミュニケーション	飼い主教育を主体としたインフォームドコンセントを理解する		
7~8	院内マネジメント	院内業務について理解する		
9~11	グリーフケア	グリーフケアの対応と禁忌		
12	メンタルヘルス	動物看護師のメンタルヘルスについて		
13	まとめ	まとめ		
14	総復習	総復習		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8 (Eduward Press)		期末試験 課題・レポート	50.0% 50.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット関連産業概論	動物看護総合学科/3年	2026/後期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		林 勇樹
授業の概要			
ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ペット関連産業における職業倫理について理解する ・ ペットの飼養実態と市場規模について理解する ・ 各ペット関連産業の現状と課題について理解する ・ 動物取扱業について理解する 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	香川県の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修			
ペットに関連する産業に触れた際に、その現状や課題について考える時間をもちましょう			
回	テーマ	内容	
1	ペット関連産業における職業倫理①	ペット関連産業と職業倫理	
2	ペット関連産業における職業倫理②	ペット関連産業と職業倫理振り返り	
3	ペット関連産業における職業倫理③	愛玩動物看護者の倫理綱領の復習	
4	ペット関連産業における職業倫理④	商取引における関連法規の概要	
5	ペット関連産業における職業倫理⑤	動物の愛護及び管理に関する法律	
6	ペットの飼育実態と市場規模	ペットの飼育実態 各ペット産業の市場規模	
7	各ペット関連産業の現状と課題①	ペット産業の分類	
8	各ペット関連産業の現状と課題②	動物病院の現状	
9	各ペット関連産業の現状と課題③	動物病院以外のサービス業の現状	
10	各ペット関連産業の現状と課題④	生体販売業の現状	
11	動物取扱業①	動物取扱業制度の概要	
12	動物取扱業②	動物取扱責任者に必要な技術と知識	
13	理想とするペット関連産業①	自分が理想とするペット関連産業について考察する	
14	理想とするペット関連産業②	自分が理想とするペット関連産業について考察する	

回	テーマ	内 容		
15	理想とするペット関連産業③	自分が理想とするペット関連産業について考察する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻（エデュワードプレス） ・授業毎の配布プリント	レポート 出席率	80% 20%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護実習Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位(30時間)	必須		齋藤小,長尾
授業の概要			
<p>「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。</p> <p>全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。また、手術関連業務として外科手術に必要な「術前準備と術後業務」「麻酔器・モニター機器」までの意義を理解し、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし適切な取り扱いができるようになる。動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p>			
授業終了時の到達目標			
授業概要に記載			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修			
事前学習として教科書をもておく 習ったところは配布資料・教科書で復習			
回	テーマ	内 容	
1	前期末試験の見直し	前期末試験の解説と復習	
2~4	血液検査①	血液検査の準備、採血管の種類を覚える	
5	輸血	輸血の目的、準備と補助の手技を学ぶ	
6~8	X線検査	X線検査の基礎知識から保定の実践	
9	手術器具	翼現場で使用する手術関連器具を覚える	
10	診療補助	猫と暴れる犬の保定、対応方法	
11	実技試験の練習		
12	実技試験		
13	総まとめ	これまでに学んできたことの復習	
14	期末試験		
15	期末試験の解説		
教科書・教材		評価基準	評価率
動物看護実習テキスト(インターズー)		実習・実技評価 期末試験	50.0% 50.0%
			その他

回	テ ー マ	内 容		

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習Ⅱ	動物看護総合学科/3年	2026/後期	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
1単位 (30時間)	必須		齋藤 小百合
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 			
授業終了時の到達目標			
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる ・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	動物看護師として8年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、動物を介しての人との関わり方を指導する		
時間外に必要な学修			
担当犬の手入れ			
回	テーマ	内容	
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習	
教科書・教材		評価基準	評価率
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%
			【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)